

伊那都市計画基礎調査報告書
(概 要 版)

平成 3 1 年 3 月

長野県南箕輪村

目 次

① 人 口	
C0101 人口規模	1
C0103 将来人口	4
C0104 人口増減の内訳	7
C0105 通勤・通学移動	9
② 産 業	
C0201 産業・職業大分類別就業者数	11
C0202 事業所数・従業者数・売上金額	17
③ 土地利用	
C0302 土地利用現況	28
C0304 宅地開発状況	30
C0305 農地転用状況	32
C0307 新築状況	33
C0308 条例・協定	36
④ 建 物	
C0401 建物用途別現況	39
C0402 大規模小売店舗等の立地状況	44
⑤ 都市施設	
C0501 都市施設の位置、内容等	45
⑥ 交 通	
C0601 主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度	46
C0603 鉄道・路面電車等の状況	48
C0604 バスの状況	48
⑦ 地 価	
C0701 地価の状況	49
⑧ 自然環境	
C0802 気象状況	50
C0803 緑の状況	52
⑨ 公害及び災害	
C0901 災害の発生状況	53
C0902 防災拠点・避難場所	53

● 数字の表章単位未満は、四捨五入を原則としている。したがって、総数と内容の計が一致しない場合がある。

① 人口

C0101 人口規模

1) 人口総数及び増加数

南箕輪村の行政区域の人口推移をみると、増加が続いており、平成 27 年には 15,063 人となっている。平成 7 年から平成 27 年までの 21 年間の増減は 2,930 人増、24.1%の増加となっている。

用途地域指定区域の人口については、平成 17 年をピークに緩やかに減少しているが、用途地域指定外区域では行政区域の人口と同様に増加が続いている。

また、平成 7 年から平成 27 年の 21 年間ににおける人口増減は、用途地域指定区域では 6.3%増（513 人増）、用途地域指定外区域では 59.8%増（2,417 人増）となっており、用途地域指定外区域での増加率が高いことから、郊外への人口の滲み出しがみられる。

表 1 - 1 人口推移

区 域	H7年	H7~H12年 の増減		H12年	H12~H17年 の増減		H17年	H17~H22年 の増減		H22年	H22~H27年 の増減		H27年
	人口	人口	率	人口	人口	率	人口	人口	率	人口	人口	率	人口
行政区域	12,133	1,271	10.5	13,404	216	1.6	13,620	923	6.8	14,543	520	3.6	15,063
都市計画 区	12,133	1,271	10.5	13,404	216	1.6	13,620	923	6.8	14,543	520	3.6	15,063
用途地域 指定区域	8,090	808	10.0	8,898	145	1.6	9,043	△ 155	△ 1.7	8,888	△ 285	△ 3.2	8,603
用途地域 指定外区域	4,043	463	11.5	4,506	71	1.6	4,577	1,078	23.6	5,655	805	14.2	6,460

資料：国勢調査、国勢調査調査区一覧等

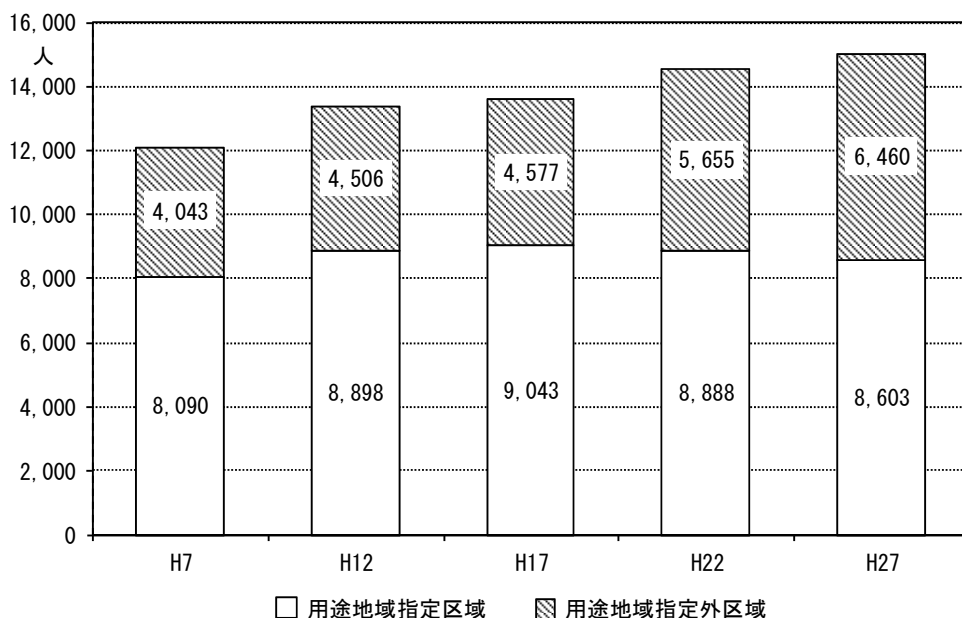


図 1 - 1 人口推移

2) 年齢・性別人口

平成27年の5歳階級別人口をみると、男女とも35～39歳、40～44歳の人口が多くなっている。男女で比較すると54歳まではほとんどの年齢層で男性が女性を上回っているが、55歳からは、すべての年齢層で女性が上回っている。

また、平成7年と平成27年を比較すると、多くの年齢層で人口が増加しているが、15～29歳の年齢層では人口が減少している。

年齢（3区分）別人口の構成比を見ると、平成7年から平成27年までの21年間で年少人口が17.5%から16.0%（1.5%減）、生産年齢人口は67.9%から61.2%（6.7%減）、老年人口は14.6%から22.4%（7.8%増）と変化しており、少子高齢の進行については、比較的緩やかであることがわかる。

表1-2 5歳階級別年齢・性別人口推移（行政区・都市計画区域）

単位：人

年 階層	平成7年			平成12年			平成17年			平成22年			平成27年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
0～4	660	336	324	736	388	348	708	369	339	786	426	360	814	417	397
5～9	719	377	342	731	355	376	749	392	357	752	386	366	821	436	385
10～14	741	380	361	739	385	354	745	370	375	798	414	384	771	389	382
年少人口	2,120	1,093	1,027	2,206	1,128	1,078	2,202	1,131	1,071	2,336	1,226	1,110	2,406	1,242	1,164
15～19	832	447	385	706	358	348	673	365	308	692	354	338	743	395	348
20～24	1,118	623	495	1,135	599	536	930	505	425	847	477	370	830	458	372
25～29	854	438	416	1,175	629	546	968	514	454	856	437	419	749	387	362
30～34	813	414	399	941	472	469	1,093	573	520	1,108	575	533	894	442	452
35～39	769	392	377	919	482	437	932	463	469	1,140	590	550	1,168	602	566
40～44	886	451	435	804	410	394	904	481	423	1,002	509	493	1,199	618	581
45～49	893	449	444	950	494	456	792	396	396	918	475	443	1,014	518	496
50～54	810	412	398	939	463	476	920	466	454	810	405	405	918	481	437
55～59	648	309	339	833	417	416	950	460	490	936	469	467	781	385	396
60～64	620	313	307	666	322	344	843	420	423	976	468	508	918	454	464
生産年齢人口	8,243	4,248	3,995	9,068	4,646	4,422	9,005	4,643	4,362	9,285	4,759	4,526	9,214	4,740	4,474
65～69	610	273	337	611	298	313	660	319	341	831	415	416	958	454	504
70～74	467	206	261	569	250	319	561	273	288	622	290	332	784	377	407
75～79	336	118	218	442	187	255	521	212	309	539	246	293	591	270	321
80～84	218	74	144	278	96	182	372	140	232	462	177	285	476	202	274
85～89	106	33	73	154	46	108	191	55	136	280	90	190	367	131	236
90～	33	9	24	76	21	55	102	24	78	143	31	112	201	42	159
老年人口	1,770	713	1,057	2,130	898	1,232	2,407	1,023	1,384	2,877	1,249	1,628	3,377	1,476	1,901
不詳	-	-	-	-	-	-	6	2	4	45	33	12	66	40	26
総計	12,133	6,054	6,079	13,404	6,672	6,732	13,620	6,799	6,821	14,543	7,267	7,276	15,063	7,498	7,565

資料：国勢調査

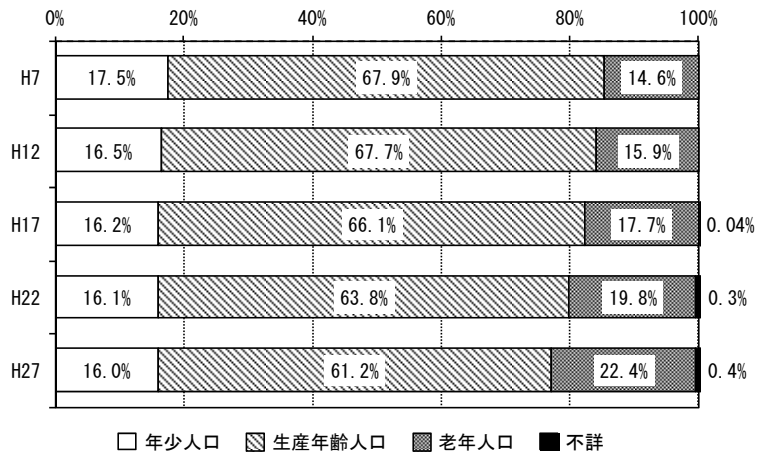
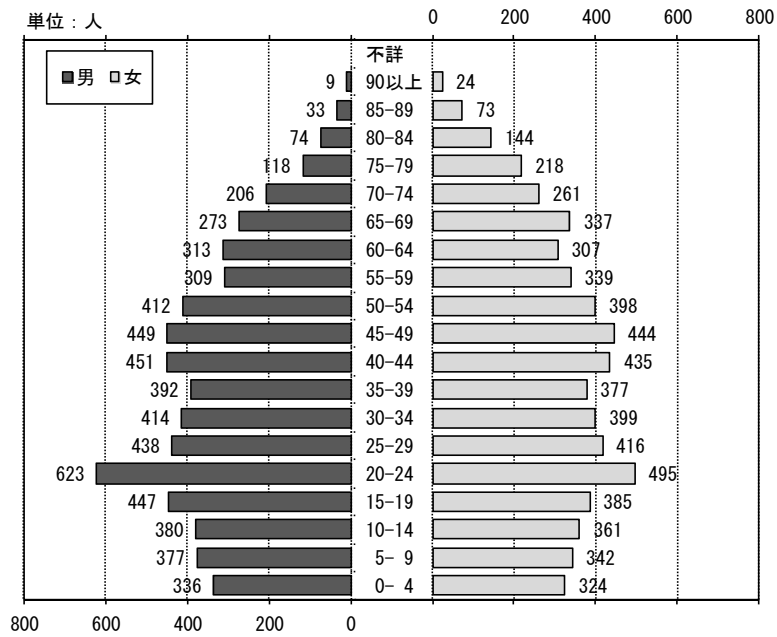


図1-2 年齢3区分別人口構成比推移 (行政区域・都市計画区域)

平成7年



平成27年

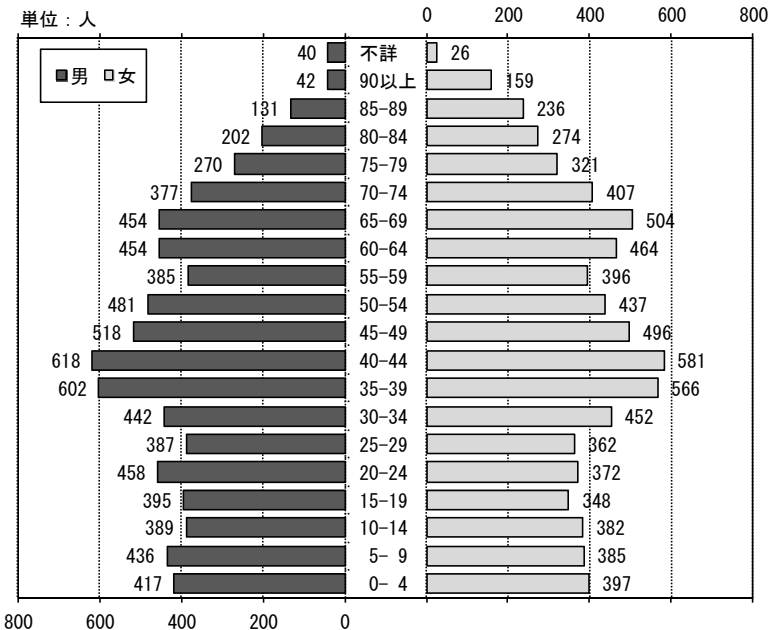


図1-3 5歳階級別年齢・性別人口 (行政区域・都市計画区域)

C0103 将来人口

国立社会保障・人口問題研究所による南箕輪村の推計人口は平成 42 年までは微増が続くものの、それ以降は減少に転じ、平成 57 年には 14,790 人になると推計されている。年齢 3 区分別人口でみると、平成 27 年から平成 57 年の増減は年少人口が 276 人減（11.5%減）、生産年齢人口が 1,377 人減（14.9%減）、老年人口が 1,446 人増（42.8%増）となっている。

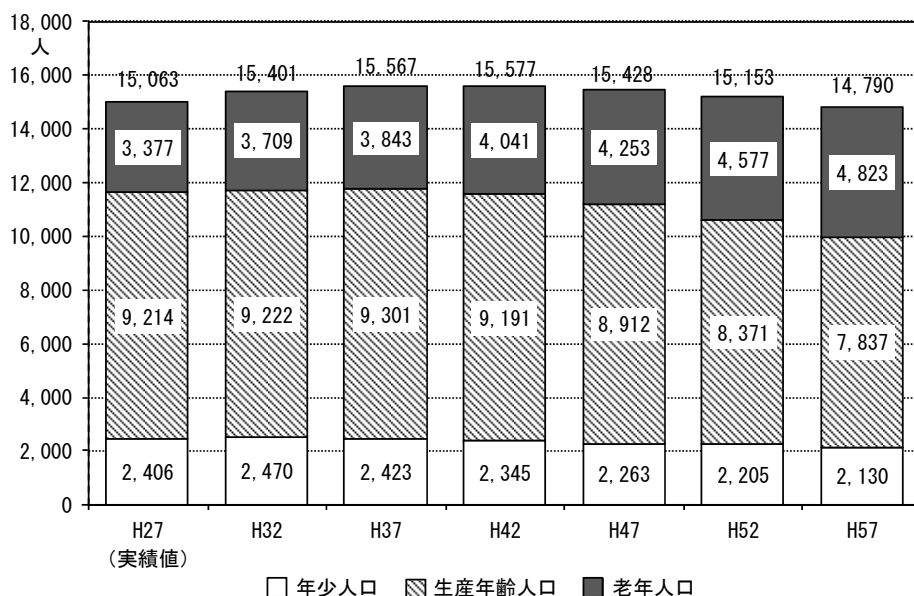
表 1-3 5 歳階級別人口推計

単位：人

	平成27年（実績値）			平成32年			平成37年			平成42年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
0～4	814	417	397	807	414	393	765	392	373	749	384	365
5～9	821	436	385	831	421	410	819	416	403	772	392	380
10～14	771	389	382	832	434	398	839	419	420	824	413	411
年少人口	2,406	1,242	1,164	2,470	1,269	1,201	2,423	1,227	1,196	2,345	1,189	1,156
15～19	743	395	348	710	367	343	757	403	354	757	387	370
20～24	830	458	372	897	506	391	847	472	375	847	478	369
25～29	749	387	362	746	382	364	781	408	373	738	382	356
30～34	894	442	452	793	397	396	774	387	387	800	406	394
35～39	1,168	602	566	943	464	479	839	417	422	820	408	412
40～44	1,199	618	581	1,209	621	588	981	483	498	872	434	438
45～49	1,014	518	496	1,218	630	588	1,201	617	584	980	485	495
50～54	918	481	437	1,020	529	491	1,212	634	578	1,185	614	571
55～59	781	385	396	911	472	439	1,007	516	491	1,194	616	578
60～64	918	454	464	775	374	401	902	457	445	998	500	498
生産年齢人口	9,214	4,740	4,474	9,222	4,742	4,480	9,301	4,794	4,507	9,191	4,710	4,481
65～69	958	454	504	897	439	458	757	361	396	879	440	439
70～74	784	377	407	911	414	497	848	399	449	719	329	390
75～79	591	270	321	750	349	401	876	388	488	813	372	441
80～84	476	202	274	522	225	297	662	292	370	783	330	453
85～89	367	131	236	361	135	226	400	152	248	513	200	313
90歳以上	201	42	159	268	63	205	300	73	227	334	84	250
老年人口	3,377	1,476	1,901	3,709	1,625	2,084	3,843	1,665	2,178	4,041	1,755	2,286
年齢不詳	66	40	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総計	15,063	7,498	7,565	15,401	7,636	7,765	15,567	7,686	7,881	15,577	7,654	7,923

	平成47年			平成52年			平成57年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
0～4	735	377	358	712	365	347	679	348	331
5～9	752	382	370	738	375	363	712	362	350
10～14	776	389	387	755	379	376	739	371	368
年少人口	2,263	1,148	1,115	2,205	1,119	1,086	2,130	1,081	1,049
15～19	742	380	362	695	356	339	676	347	329
20～24	814	449	365	783	432	351	721	398	323
25～29	723	379	344	687	355	332	658	341	317
30～34	757	382	375	731	372	359	690	347	343
35～39	846	427	419	801	403	398	773	393	380
40～44	848	423	425	873	441	432	826	416	410
45～49	873	436	437	847	424	423	869	440	429
50～54	970	486	484	864	437	427	838	425	413
55～59	1,159	593	566	952	472	480	848	424	424
60～64	1,180	596	584	1,138	571	567	938	456	482
生産年齢人口	8,912	4,551	4,361	8,371	4,263	4,108	7,837	3,987	3,850
65～69	973	482	491	1,149	574	575	1,105	548	557
70～74	832	401	431	923	441	482	1,088	524	564
75～79	694	310	384	800	376	424	888	414	474
80～84	724	316	408	623	266	357	718	323	395
85～89	621	233	388	568	221	347	498	190	308
90歳以上	409	108	301	514	134	380	526	136	390
老年人口	4,253	1,850	2,403	4,577	2,012	2,565	4,823	2,135	2,688
年齢不詳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総計	15,428	7,549	7,879	15,153	7,394	7,759	14,790	7,203	7,587

資料：平成 27 年国勢調査、日本の地域別将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所、平成 30 年推計）



注) 総数に年齢不詳を含む

図1-4 年齢3区分別将来推計人口

国勢調査を基本とした人口推計によると、推計方式により数値に幅はあるものの、将来の行政区域人口は増加傾向にあることが推測される。ただし、国立社会保障・人口問題研究所にて公表しているコーホート要因法での推計値では、前述の通り平成42年以降は減少傾向となることが推計されている。

また、南箕輪村第5次総合計画における平成37年の将来目標人口は15,500人に設定されている。

表1-4 人口推計

単位：人

	平成27年 (基準年次)	平成32年	平成37年 (10年後)	平成42年	平成47年 (20年後)
実績値	15,063				
1. 上位計画					
南箕輪村第5次総合計画			15,500		
南箕輪村人口ビジョン(将来展望人口)		15,323	15,535	15,680	15,785
国土利用計画(南箕輪村計画)			15,500		
伊那都市計画区域マスタープラン (伊那市、南箕輪村)		13,000			
南箕輪村都市計画マスタープラン			14,800		
伊那都市計画区域マスタープラン		13,000	(概ね)		
2. 推計値					
等差式		15,795	16,528	17,260	17,993
等比式		15,899	16,782	17,714	18,698
一次式		15,837	16,532	17,227	17,922
二次式		16,043	16,743	17,443	18,143
指数式		15,999	16,843	17,731	18,666
べき曲線式		16,365	17,242	18,125	19,012
コーホート要因法注 (国立社会保障・人口問題研究所)		15,401	15,567	15,577	15,428
用途地域指定区域					
実績値	8,603				
3. 推計値					
等差式		8,731	8,859	8,987	9,115
等比式		8,735	8,870	9,007	9,146
一次式		9,004	9,104	9,204	9,304
二次式		9,412	9,513	9,615	9,716
指数式		9,019	9,129	9,241	9,353
べき曲線式		9,397	9,612	9,822	10,026

資料：国勢調査

注) 日本の地域別将来推計人口(平成30年推計)

【人口推計参考資料】

平成7年から平成27年までの国勢調査人口を用いた、人口推計における回帰式及び一般式は以下のとおりである。

Y：基準年次からxまたはn年後における推計人口

x：基準年次（H12 x=0）からの経過年数（15, 20, 25, 30）

n：基準年次（H27）からの経過年数（5, 10, 15, 20）

	行政区域（都市計画区域）	用途地域指定区域
等差式	$Y = 15,063 + 146.5n$	$Y = 8,603 + 25.6n$
等比式	$Y = 15,063 \times (1 + 0.01087)^n$	$Y = 8,603 \times (1 + 0.00307)^n$
一次式	$Y = 139x + 13,752$	$Y = 20x + 8,704$
二次式	$Y = 0.31252 \times 250 + 139.98x + 13,866$	$Y = 0.19327 \times 250 + 20.32x + 9,059$
指数式	$Y = 13,714 \times 1.01033^x$	$Y = 8,697 \times 1.00243^x$
べき曲線式	$Y = \langle 80.54 + \{1.0116 \times (n+20)^{1.03288} \rangle \div 100 \times 15,063$	$Y = \langle 94.03 + \{1.0315 \times (n+20)^{0.83593} \rangle \div 100 \times 8,603$

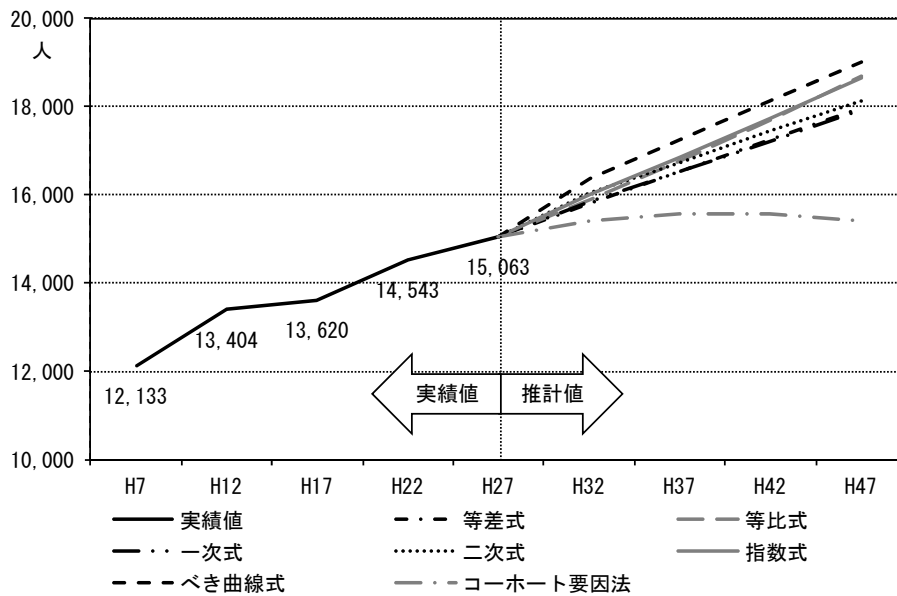


図1-5 人口の推移と将来推計（行政区域）

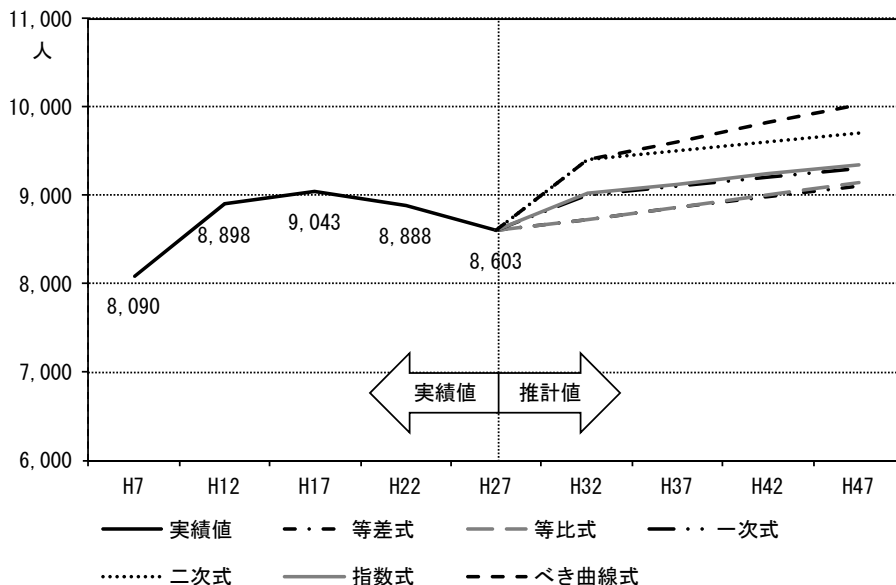


図1-6 人口の推移と将来推計（用途地域指定区域）

C0104 人口増減の内訳

行政区域の平成2年から平成29年までの28年間における人口増減数は4,696人増となっている。

自然動態については、一貫して自然増が続いているが、平成29年においては3人増となっており、その増加幅は縮小傾向にある。

また、社会動態についてはほとんどの年で社会増となっており、平成7年、平成9年は400人以上増と特に多くなっている。

全体の人口動態の推移を累計値で見ると、増加傾向が続いており、近年は100人前後増と緩やかな増加となっている。

表1-5 人口動態推移

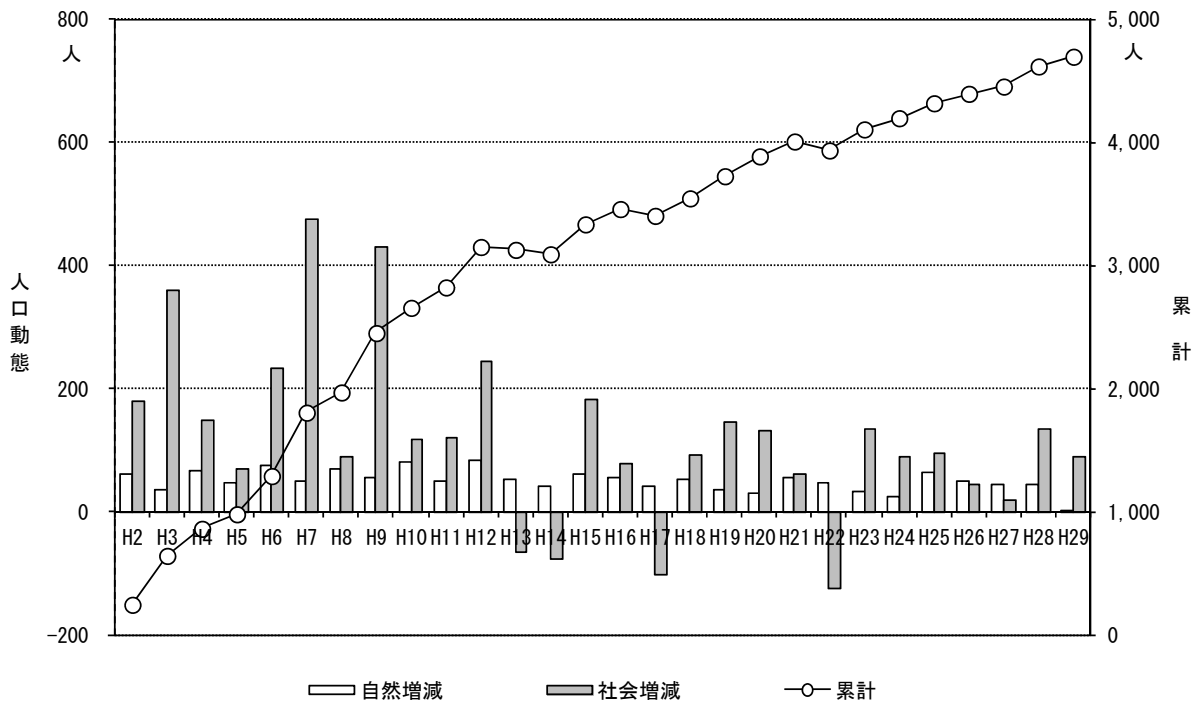
単位：人

年		H2年	H3年	H4年	H5年	H6年	H7年	H8年	H9年	H10年	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年
行政区域	出生数	119	103	139	124	141	138	140	144	153	145	157	174	150	158
	死亡者数	58	67	73	78	66	89	71	90	72	96	74	122	110	97
	自然増減	61	36	66	46	75	49	69	54	81	49	83	52	40	61
	転入者数	717	911	805	795	991	1,348	1,204	1,493	1,448	1,456	1,617	1,213	1,172	1,295
	転出者数	537	551	656	727	758	874	1,115	1,063	1,331	1,337	1,373	1,279	1,250	1,113
	社会増減	180	360	149	68	233	474	89	430	117	119	244	△66	△78	182
	その他の増減	5	1	5	4	2	△8	6	△2	7	△2	1	△9	2	0
	人口増減数	246	397	220	118	310	515	164	482	205	166	328	△23	△36	243
	累計	246	643	863	981	1,291	1,806	1,970	2,452	2,657	2,823	3,151	3,128	3,092	3,335
	都市計画区域	出生数	119	103	139	124	141	138	140	144	153	145	157	174	150
死亡者数		58	67	73	78	66	89	71	90	72	96	74	122	110	97
自然増減		61	36	66	46	75	49	69	54	81	49	83	52	40	61
転入者数		717	911	805	795	991	1,348	1,204	1,493	1,448	1,456	1,617	1,213	1,172	1,295
転出者数		537	551	656	727	758	874	1,115	1,063	1,331	1,337	1,373	1,279	1,250	1,113
社会増減		180	360	149	68	233	474	89	430	117	119	244	△66	△78	182
その他の増減		5	1	5	4	2	△8	6	△2	7	△2	1	△9	2	0
人口増減数		246	397	220	118	310	515	164	482	205	166	328	△23	△36	243
累計		246	643	863	981	1,291	1,806	1,970	2,452	2,657	2,823	3,151	3,128	3,092	3,335
用途地域指定区域		出生数	81	70	95	85	96	92	93	96	102	97	104	116	100
	死亡者数	40	46	50	53	45	59	47	60	48	64	49	81	73	64
	自然増減	41	24	45	32	51	33	46	36	54	33	55	35	27	41
	転入者数	489	621	549	542	676	899	803	995	965	971	1,073	805	778	860
	転出者数	366	376	448	496	517	583	743	709	887	891	911	849	830	739
	社会増減	123	245	101	46	159	316	60	286	78	80	162	△44	△52	121
	その他の増減	3	1	3	3	1	△5	4	△1	5	△1	1	△6	1	0
	人口増減数	167	270	149	81	211	344	110	321	137	112	218	△15	△24	162
	累計	167	437	586	667	878	1,222	1,332	1,653	1,790	1,902	2,120	2,105	2,081	2,243

年		H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年
行政区域	出生数	145	151	154	138	142	160	166	154	153	158	178	158	175	141
	死亡者数	89	111	101	102	112	105	120	122	128	94	128	113	132	138
	自然増減	56	40	53	36	30	55	46	32	25	64	50	45	43	3
	転入者数	1,276	1,142	1,205	1,314	1,233	1,003	726	852	801	794	742	720	747	731
	転出者数	1,198	1,244	1,114	1,168	1,102	941	851	717	712	699	699	701	614	641
	社会増減	78	△102	91	146	131	62	△125	135	89	95	43	19	133	90
	その他の増減	△10	7	△2	△2	0	4	6	4	△23	△38	△16	△5	△13	△14
	人口増減数	124	△55	142	180	161	121	△73	171	91	121	77	59	163	79
	累計	3,459	3,404	3,546	3,726	3,887	4,008	3,935	4,106	4,197	4,318	4,395	4,454	4,617	4,696
	都市計画区域	出生数	145	151	154	138	142	160	166	154	153	158	178	158	175
死亡者数		89	111	101	102	112	105	120	122	128	94	128	113	132	138
自然増減		56	40	53	36	30	55	46	32	25	64	50	45	43	3
転入者数		1,276	1,142	1,205	1,314	1,233	1,003	726	852	801	794	742	720	747	731
転出者数		1,198	1,244	1,114	1,168	1,102	941	851	717	712	699	699	701	614	641
社会増減		78	△102	91	146	131	62	△125	135	89	95	43	19	133	90
その他の増減		△10	7	△2	△2	0	4	6	4	△23	△38	△16	△5	△13	△14
人口増減数		124	△55	142	180	161	121	△73	171	91	121	77	59	163	79
累計		3,459	3,404	3,546	3,726	3,887	4,008	3,935	4,106	4,197	4,318	4,395	4,454	4,617	4,696
用途地域指定区域		出生数	96	100	102	92	94	106	101	94	94	97	109	90	100
	死亡者数	59	74	67	68	74	70	73	75	78	57	78	65	75	79
	自然増減	37	26	35	24	20	36	28	19	16	40	31	25	25	2
	転入者数	847	758	800	872	819	666	444	521	490	485	453	411	427	417
	転出者数	795	826	740	775	732	625	520	438	435	427	427	400	351	366
	社会増減	52	△68	60	97	87	41	△76	83	55	58	26	11	76	51
	その他の増減	△7	5	△1	△1	0	3	4	2	△14	△23	△10	△3	△7	△8
	人口増減数	82	△37	94	120	107	80	△44	104	57	75	47	33	94	45
	累計	2,325	2,288	2,382	2,502	2,609	2,689	2,645	2,749	2,806	2,881	2,928	2,961	3,055	3,100

資料：毎月人口異動調査

注) 用途地域指定区域の数値は、行政区域に占める人口の割合により按分した数値(参考値)



注) 累計にその他の増減を含む

図 1 - 7 人口動態の推移 (行政区域)

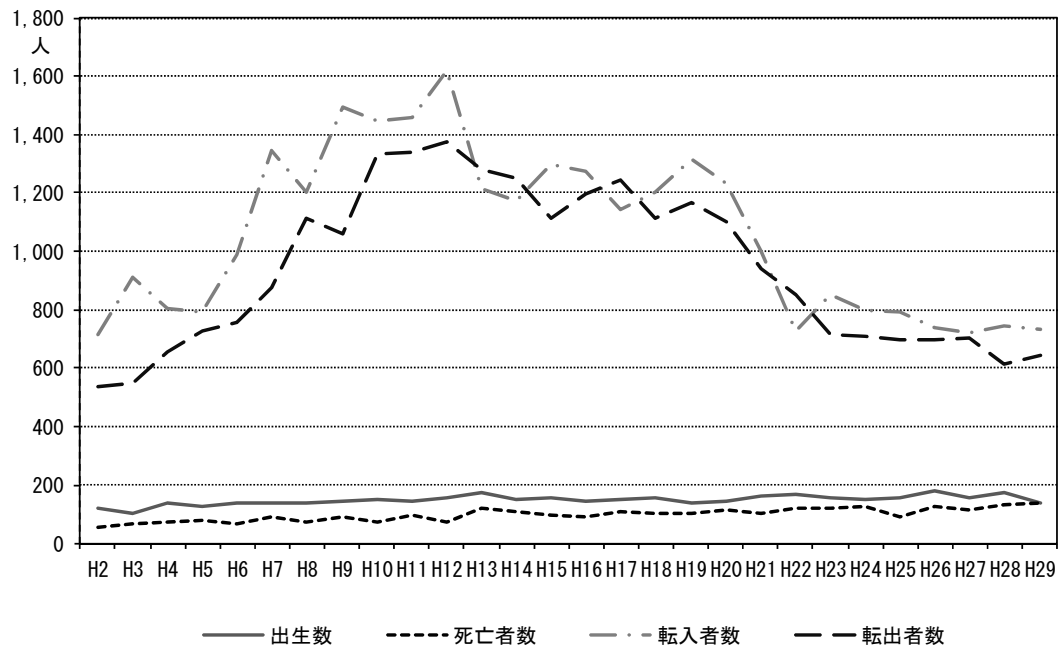


図 1 - 8 人口動態の推移内訳 (行政区域)

C0105 通勤・通学移動

平成7年から平成27年までの就業・通学者による流出・流入人口をみると、常住地による就業・通学者数は平成17年に一時減少したものの、その後は増加が続いている。一方、従業・通学地による就業・通学者数は平成17年をピークに減少に転じている。平成27年の常住地による就業・通学者数は8,513人、従業・通学地による就業・通学者数は7,463人となっており、平成7年と比較すると、前者で約730人、後者で約90人増加している。

平成7年と平成27年の流出先・流入先を市町村別に比較すると、流出先・流入先ともに第1位は伊那市となっており、流出者数は約170人増加、流入者数は約120人減少している。

また、平成27年における流出・流入率は、順に59.3%、53.4%と流出が流入をやや上回っている。

表1-6 流出・流入別人口推移

	流出			従業・通学地 による就業・ 通学者数	流入		従/常 就業・ 通学者比率
	常住地による 就業・ 通学者数	就業・ 通学者数	流出率		就業・ 通学者数	流入率	
平成7年	人 7,782	人 4,297	% 55.2	人 7,374	人 3,889	% 52.7	% 94.8
平成12年	8,344	4,717	56.5	7,486	3,859	51.5	89.7
平成17年	8,190	4,724	57.7	7,623	4,157	54.5	93.1
平成22年	8,409	4,975	59.2	7,571	4,083	53.9	90.0
平成27年	8,513	5,052	59.3	7,463	3,982	53.4	87.7

表1-7 市町村別流出・流入先人口推移

	流出先								
	流出率第1位			流出率第2位			流出率第3位		
	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率
平成7年	伊那市	人 2,277	% 29.3	箕輪町	人 946	% 12.2	辰野町	人 285	% 3.7
平成12年	〃	2,350	28.2	〃	1,118	13.4	〃	325	3.9
平成17年	〃	2,393	29.2	〃	1,019	12.4	〃	346	4.2
平成22年	〃	2,451	29.1	〃	1,140	13.6	〃	370	4.4
平成27年	〃	2,446	28.7	〃	1,051	12.3	〃	409	4.8

	流出先					
	流出率第4位			流出率第5位		
	市町村名	流出者数	流出率	市町村名	流出者数	流出率
平成7年	駒ヶ根市	人 252	% 3.2	宮田村	人 83	% 1.1
平成12年	〃	302	3.6	〃	110	1.3
平成17年	〃	283	3.5	〃	116	1.4
平成22年	〃	333	4.0	〃	113	1.3
平成27年	〃	367	4.3	〃	105	1.2

	流入先								
	流入率第1位			流入率第2位			流入率第3位		
	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率
平成7年	伊那市	人 2,180	% 29.2	箕輪町	人 696	% 9.3	駒ヶ根市	人 258	% 3.5
平成12年	〃	2,104	28.2	〃	699	9.4	〃	275	3.7
平成17年	〃	2,166	29.0	〃	798	10.7	〃	251	3.4
平成22年	〃	2,223	29.8	〃	792	10.6	〃	255	3.4
平成27年	〃	2,065	27.7	〃	847	11.3	辰野町	人 284	% 3.8

	流入先					
	流入率第4位			流入率第5位		
	市町村名	流入者数	流入率	市町村名	流入者数	流入率
平成7年	辰野町	人 224	% 3.0	高遠町	人 115	% 1.5
平成12年	〃	233	3.1	〃	123	1.6
平成17年	〃	246	3.3	高遠町 宮田村	人 105	% 1.4
平成22年	〃	247	3.3	宮田村	人 113	% 1.5
平成27年	駒ヶ根市	人 214	% 2.9	〃	人 102	% 1.4

資料：国勢調査

- 注1) 常住地による就業・通学者数とは、当該都市に常住する（夜間人口ベース）就業・通学者を言う
 従業・通学地による就業・通学者数とは、当該都市に就業・通学する（昼間人口ベース）就業・通学者を言う
- 注2) 流出率＝流出就業・通学者数／常住地による就業・通学者数×100
 流入率＝流入就業・通学者数／従業・通学地による就業・通学者数×100
- 注3) (従/常)就業・通学者比率＝従業・通学地による就業・通学者数／常住地による就業・通学者数×100

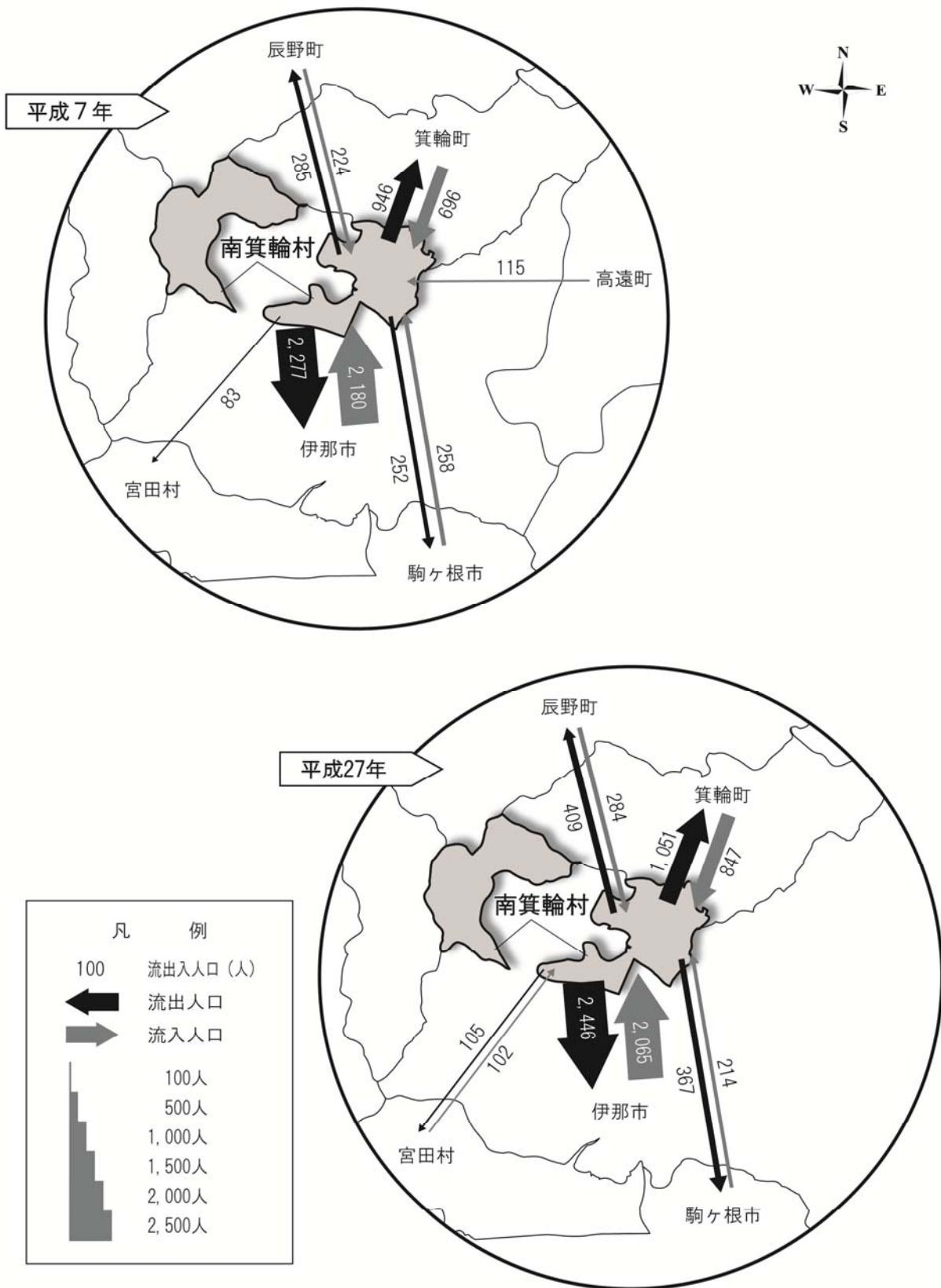


図1-9 流出・流入人口

② 産 業

C0201 産業・職業大分類別就業者数

C0201-1 産業大分類別就業者数

常住地による産業大分類別就業者数の推移をみると、第1次産業人口と第2次産業人口は減少傾向、第3次産業人口は増加傾向にある。従業地による産業大分類別就業者数の推移については、常住地と同様に、第1次産業人口と第2次産業人口は減少傾向、第3次産業人口は増加傾向にある。

表2-1 常住地による産業大分類別就業者数推移

産業大分類	平成7年		平成12年		平成17年	
	就業者数 人	構成比 %	就業者数 人	構成比 %	就業者数 人	構成比 %
A. 農業	707	10.4	573	7.7	634	9.8
B. 林業、狩猟業	6	0.1	7	0.1	9	0.1
C. 漁業、水産養殖業	3	0.04	3	0.04	2	0.03
第1次産業合計	716	10.5	583	7.8	645	10.0
D. 鉱業	6	0.1	1	0.01	1	0.02
E. 建設業	661	9.7	688	9.2	603	9.3
F. 製造業	2,463	36.1	2,871	38.4	2,481	38.3
第2次産業合計	3,130	45.9	3,560	47.6	3,085	47.7
G. 卸売・小売業・飲食店	1,056	15.5	1,138	15.2	1,256	19.4
H. 金融・保険業	98	1.4	105	1.4	100	1.5
I. 不動産業	20	0.3	25	0.3	30	0.5
J. 運輸・通信業	324	4.7	358	4.8	328	5.1
K. 電気・ガス・水道業	21	0.3	24	0.3	21	0.3
L. サービス業	1,309	19.2	1,513	20.2	795	12.3
M. 公務	146	2.1	164	2.2	155	2.4
第3次産業合計	2,974	43.6	3,327	44.5	2,685	41.5
N. 分類不能の産業	2	0.03	3	0.04	57	0.9
合 計	6,822	100.0	7,473	100.0	6,472	100.0

産業大分類	平成22年		平成27年	
	就業者数 人	構成比 %	就業者数 人	構成比 %
A. 農業、林業	545	7.2	509	6.7
うち農業	535	7.1	492	6.4
B. 漁業	-	-	-	-
第1次産業合計	545	7.2	509	6.7
C. 鉱業、採石業、砂利採取業	2	0.03	1	0.01
D. 建設業	518	6.8	467	6.1
E. 製造業	2,362	31.2	2,395	31.3
第2次産業合計	2,882	38.1	2,863	37.4
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	27	0.4	30	0.4
G. 情報通信業	57	0.8	58	0.8
H. 運輸業、郵便業	282	3.7	274	3.6
I. 卸売業、小売業	912	12.0	882	11.5
J. 金融業、保険業	113	1.5	104	1.4
K. 不動産業、物品賃貸業	55	0.7	55	0.7
L. 学術研究、専門・技術サービス業	201	2.7	176	2.3
M. 宿泊業、飲食サービス業	395	5.2	371	4.8
N. 生活関連サービス業、娯楽業	242	3.2	245	3.2
O. 教育、学習支援業	395	5.2	393	5.1
P. 医療、福祉	694	9.2	918	12.0
Q. 複合サービス事業	68	0.9	94	1.2
R. サービス業（他に分類されないもの）	275	3.6	318	4.2
S. 公務（他に分類されるものを除く）	155	2.0	175	2.3
第3次産業合計	3,871	51.1	4,093	53.5
T. 分類不能の産業	272	3.6	189	2.5
合 計	7,570	100.0	7,654	100.0

資料：国勢調査

注) 「-」は該当数値なし

表 2-2 従業地による産業大分類別就業者数推移

産業大分類	平成7年		平成12年		産業大分類	平成17年	
	就業者数 人	構成比 %	就業者数 人	構成比 %		就業者数 人	構成比 %
A. 農業	720	11.3	570	8.7	A. 農業	638	9.5
B. 林業	-	-	1	0.02	B. 林業	3	0.04
C. 漁業	3	0.05	3	0.05	C. 漁業	1	0.01
第1次産業合計	723	11.3	574	8.8	第1次産業合計	642	9.5
D. 鉱業	-	-	-	-	D. 鉱業	-	-
E. 建設業	607	9.5	631	9.6	E. 建設業	501	7.5
F. 製造業	2,193	34.3	2,318	35.4	F. 製造業	2,230	33.2
第2次産業合計	2,800	43.8	2,949	45.0	第2次産業合計	2,731	40.6
G. 電気・ガス・熱供給・水道業	7	0.1	13	0.2	G. 電気・ガス・熱供給・水道業	10	0.1
H. 運輸・通信業	575	9.0	614	9.4	H. 情報通信業	67	1.0
I. 卸売・小売業、飲食店	1,076	16.8	1,021	15.6	I. 運輸業	558	8.3
J. 金融・保険業	36	0.6	37	0.6	J. 卸売・小売業	1,011	15.0
K. 不動産業	22	0.3	25	0.4	K. 金融・保険業	44	0.7
L. サービス業	1,039	16.3	1,197	18.3	L. 不動産業	24	0.4
M. 公務（他に分類されないもの）	111	1.7	111	1.7	M. 飲食店、宿泊業	193	2.9
第3次産業合計	2,866	44.8	3,018	46.1	N. 医療、福祉	370	5.5
N. 分類不能の産業	3	0.05	6	0.1	O. 教育、学習支援業	332	4.9
合計	6,392	100.0	6,547	100.0	P. 複合サービス事業	94	1.4
					Q. サービス業（他に分類されないもの）	515	7.7
					R. 公務（他に分類されないもの）	94	1.4
					第3次産業合計	3,312	49.3
					S. 分類不能の産業	39	0.6
					合計	6,724	100.0

産業大分類	平成22年		平成27年	
	就業者数 人	構成比 %	就業者数 人	構成比 %
A. 農業、林業	537	8.0	492	7.3
うち農業	536	8.0	488	7.3
B. 漁業	1	0.01	1	0.01
第1次産業合計	538	8.0	493	7.4
C. 鉱業、採石業、砂利採取業	-	-	1	0.01
D. 建設業	439	6.5	400	6.0
E. 製造業	2,060	30.7	2,069	30.9
第2次産業合計	2,499	37.3	2,470	36.9
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	12	0.2	15	0.2
G. 情報通信業	86	1.3	63	0.9
H. 運輸業、郵便業	538	8.0	516	7.7
I. 卸売業、小売業	857	12.8	785	11.7
J. 金融業、保険業	55	0.8	52	0.8
K. 不動産業、物品賃貸業	45	0.7	54	0.8
L. 学術研究、専門・技術サービス業	90	1.3	86	1.3
M. 宿泊業、飲食サービス業	315	4.7	292	4.4
N. 生活関連サービス業、娯楽業	226	3.4	245	3.7
O. 教育、学習支援業	365	5.4	400	6.0
P. 医療、福祉	446	6.6	595	8.9
Q. 複合サービス事業	49	0.7	87	1.3
R. サービス業（他に分類されないもの）	175	2.6	227	3.4
S. 公務（他に分類されるものを除く）	107	1.6	136	2.0
第3次産業合計	3,366	50.2	3,553	53.0
T. 分類不能の産業	304	4.5	185	2.8
合計	6,707	100.0	6,701	100.0

資料：国勢調査

注) 「-」は該当数値なし

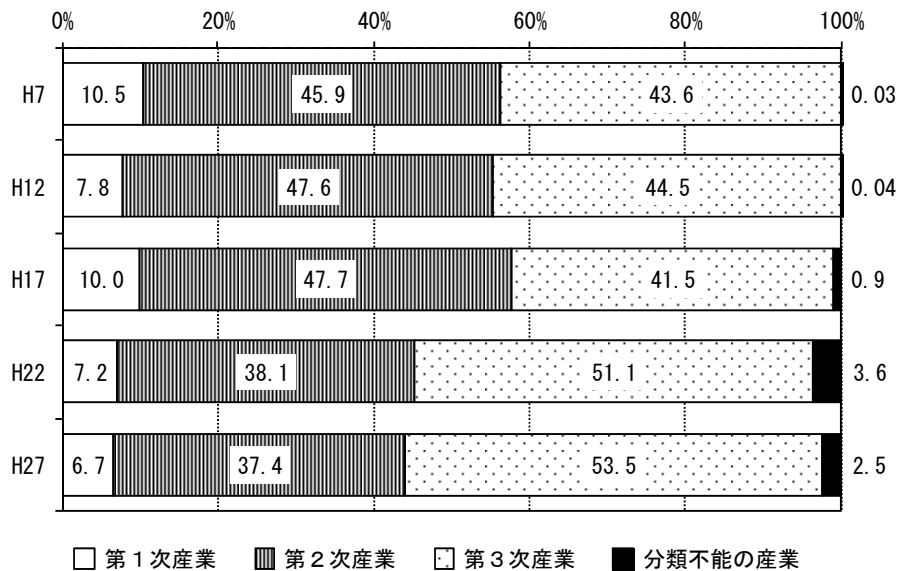


図2-1 常住地による産業3区分別人口構成比推移

産業3区分別人口推計

常住地による産業3区分別人口推計によると、推計方式により数値に幅はあるものの第1次産業人口及び第2次産業人口は減少傾向、第3次産業人口は増加傾向にあることが推測される。

平成47年の一次式による推計値の構成比をみると、第1次産業人口は4.2%、第2次産業人口は30.7%、第3次産業人口は65.0%となることが推測される。

表2-3 常住地による産業3区分別人口推計

単位：人

第1次産業人口	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年
実績値	716	583	645	545	509				
推計値 等差式						457	406	354	303
等比式						467	429	394	361
一次式						464	419	374	329
二次式						462	417	372	327
指数式						475	440	408	379

第2次産業人口	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年
実績値	3,130	3,560	3,085	2,882	2,863				
推計値 等差式						2,796	2,730	2,663	2,597
等比式						2,800	2,738	2,678	2,619
一次式						2,744	2,624	2,504	2,384
二次式						2,846	2,725	2,604	2,483
指数式						2,752	2,647	2,545	2,448

第3次産業人口	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年
実績値	2,974	3,327	2,685	3,871	4,093				
推計値 等差式						4,372	4,652	4,931	5,211
等比式						4,433	4,801	5,200	5,632
一次式						4,215	4,490	4,765	5,040
二次式						4,020	4,299	4,577	4,855
指数式						4,243	4,591	4,969	5,377

資料：国勢調査

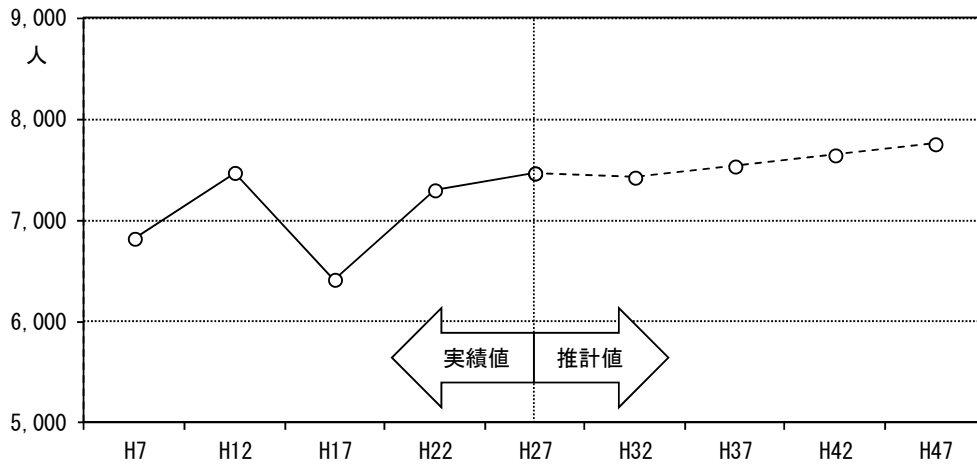


図 2-2 常住地による産業人口推計 (一次式による)

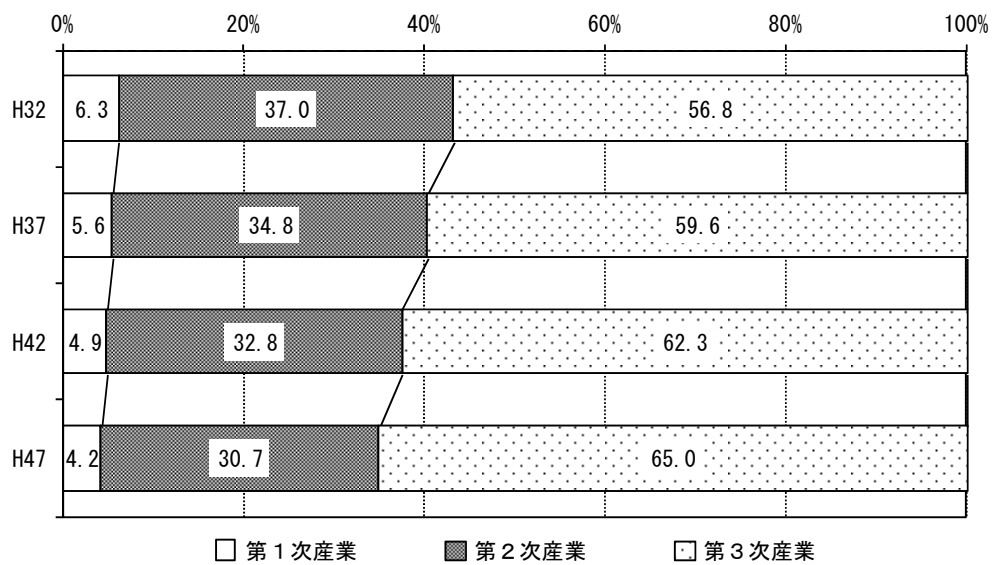


図 2-3 常住地による産業3区分別人口推計構成比 (一次式による)

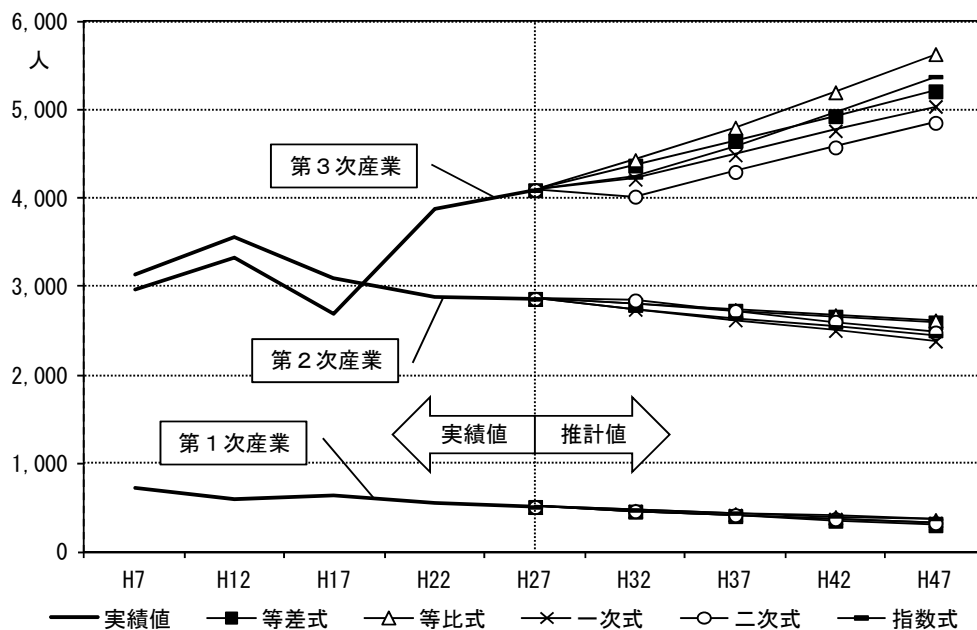


図 2-4 常住地による産業3区分別人口推計

C0201-2 職業大分類別就業者数

平成 27 年の職業大分類別人口をみると、順位に差はあるものの常住地・従業地ともに、専門的・技術的職業従事者、事務従事者、生産工程従事者が上位を占めている。就業者数が最も多い職業は、常住地・従業地ともに生産工程従事者で、前者が 1,809 人 (23.6%)、後者が 1,531 人 (22.8%) となっている。

表 2-4 常住地による職業大分類別就業者数推移

職業大分類	平成7年		平成12年		平成17年	
	就業者数	構成比	就業者数	構成比	就業者数	構成比
A. 専門的・技術的職業従事者	823	12.1	902	12.1	898	12.2
B. 管理的職業従事者	218	3.2	170	2.3	137	1.9
C. 事務従事者	1,041	15.3	1,143	15.3	1,170	15.9
D. 販売従事者	564	8.3	712	9.5	699	9.5
E. F. 農林・漁業従事者	709	10.4	575	7.7	624	8.5
G. 採鉱・採石作業	-	-	-	-	-	-
H. 運輸・通信従事者	215	3.2	227	3.0	189	2.6
I. 技能工、生産工程作業員および単純労働者	2,841	41.6	3,238	43.3	2,953	40.1
J. 保安職業従事者	24	0.4	32	0.4	43	0.6
K. サービス職業従事者	385	5.6	471	6.3	597	8.1
L. 分類不能の職業	2	0.03	3	0.04	59	0.8
合計	6,822	100.0	7,473	100.0	7,369	100.0

職業大分類	平成22年		平成27年	
	就業者数	構成比	就業者数	構成比
A. 管理的職業従事者	143	1.9	147	1.9
B. 専門的・技術的職業従事者	1,162	15.4	1,257	16.4
C. 事務従事者	1,143	15.1	1,208	15.8
D. 販売従事者	702	9.3	673	8.8
E. サービス職業従事者	773	10.2	832	10.9
F. 保安職業従事者	49	0.6	56	0.7
G. 農林漁業従事者	533	7.0	511	6.7
H. 生産工程従事者	1,842	24.3	1,809	23.6
I. 輸送・機械運転従事者	190	2.5	191	2.5
J. 建設・採掘従事者	332	4.4	301	3.9
K. 運搬・清掃・包装等従事者	433	5.7	481	6.3
L. 分類不能の職業	268	3.5	188	2.5
合計	7,570	100.0	7,654	100.0

資料：国勢調査

注) 「-」は該当数値なし

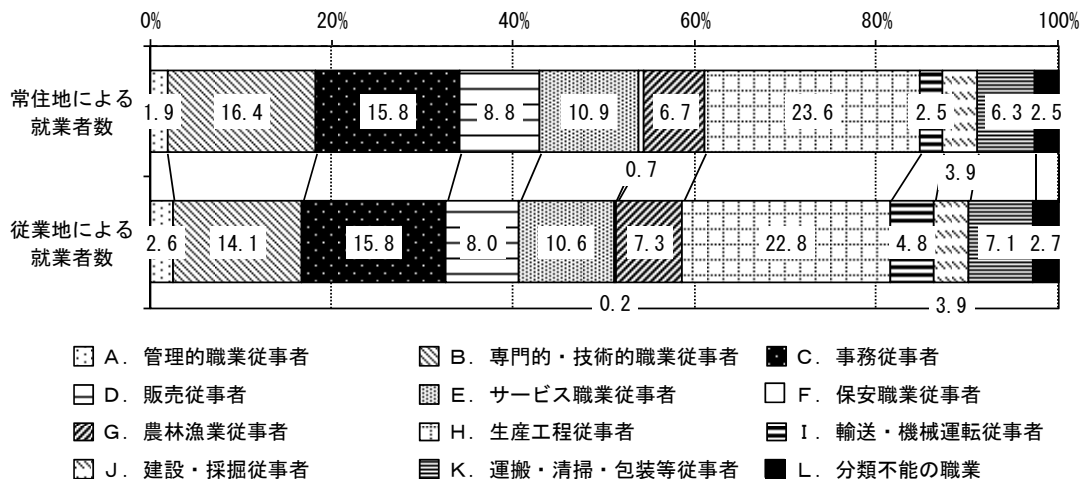


図 2-5 職業大分類別人口構成比 (平成 27 年)

表 2-5 従業地による職業大分類別就業者数推移

職業大分類	平成7年	
	就業者数	構成比
A. 専門的・技術的職業従事者	646	10.1
B. 管理的職業従事者	244	3.8
C. 事務従事者	1,004	15.7
D. 販売従事者	578	9.0
E. サービス職業従事者	282	4.4
F. 保安職業従事者	22	0.3
G. 農林漁業従事者	715	11.2
H. 運輸・通信従事者	324	5.1
I. 技能工・採掘・製造・建築作業及び労務作業者	2,575	40.3
J. 分類不能の職業	2	0.03
合計	6,392	100.0

職業大分類	平成12年		平成17年	
	就業者数	構成比	就業者数	構成比
A. 専門的・技術的職業従事者	707	10.8	728	10.8
B. 管理的職業従事者	176	2.7	169	2.5
C. 事務従事者	1,092	16.7	1,101	16.4
D. 販売従事者	563	8.6	642	9.5
E. サービス職業従事者	365	5.6	472	7.0
F. 保安職業従事者	12	0.2	16	0.2
G. 農林漁業従事者	572	8.7	629	9.4
H. 運輸・通信従事者	346	5.3	310	4.6
I. 生産工程・労務作業者	2,707	41.3	2,617	38.9
J. 分類不能の職業	7	0.1	40	0.6
合計	6,547	100.0	6,724	100.0

職業大分類	平成22年		平成27年	
	就業者数	構成比	就業者数	構成比
A. 管理的職業従事者	189	2.8	176	2.6
B. 専門的・技術的職業従事者	812	12.1	948	14.1
C. 事務従事者	976	14.6	1,058	15.8
D. 販売従事者	581	8.7	539	8.0
E. サービス職業従事者	630	9.4	707	10.6
F. 保安職業従事者	15	0.2	15	0.2
G. 農林漁業従事者	524	7.8	489	7.3
H. 生産工程従事者	1,603	23.9	1,531	22.8
I. 輸送・機械運転従事者	306	4.6	322	4.8
J. 建設・採掘従事者	290	4.3	260	3.9
K. 運搬・清掃・包装等従事者	483	7.2	476	7.1
L. 分類不能の職業	298	4.4	180	2.7
合計	6,707	100.0	6,701	100.0

資料：国勢調査

C0202 事業所数・従業者数・売上金額

C0202-1 事業所数・従業者数・売上金額

平成28年における事業所数は572事業所であり、そのうち卸売業、小売業が134事業所(23.4%)、製造業が112事業所(19.6%)、建設業が64事業所(11.2%)となっている。従業者数については製造業が2,165人(34.2%)と最も多く、次いで卸売業、小売業が1,149人(18.2%)となっている。

平成8年から平成28年までの事業所数と従業者数の推移をみると、事業所数は520～650の間で、従業者数は5,400～7,800の間で推移しており、両者とも平成21年で最も多くなっている。平成8年と平成28年を比較すると、事業所数は15事業所増(2.7%増)、従業者数は301人増(5.0%増)となっている。

表2-6 産業大分類別事業所数・従業者数推移及び売上金額

産業大分類	平成8年		平成11年		平成13年	
	事業所数	従業者数 (人)	事業所数	従業者数 (人)	事業所数	従業者数 (人)
A. B. C. 農林水産業	4	54	4	75	3	27
D. 鉱業	-	-	-	-	-	-
E. 建設業	97	562	92	515	82	518
F. 製造業	126	2,502	124	2,398	117	2,287
G. 卸売業・小売業	186	1,433	194	1,405	181	1,357
H. 金融・保険業	4	34	4	37	4	34
I. 不動産業	22	45	21	45	20	34
J. 運輸・通信業	26	713	26	620	26	565
K. 電気・ガス・水道業	-	-	-	-	-	-
L. サービス業	92	680	96	611	95	661
N. 分類不能の産業	-	-	-	-	-	-
合計	557	6,023	561	5,706	528	5,483

産業大分類	平成16年	
	事業所数	従業者数 (人)
A. B. C. 農林水産業	3	34
D. 鉱業	-	-
E. 建設業	87	519
F. 製造業	122	2,205
G. 電気・ガス・熱供給・水道業	-	-
H. 情報通信業	6	30
I. 運輸業	25	618
J. 卸売・小売業	131	1,102
K. 金融・保険業	3	31
L. 不動産業	21	38
M. 飲食店、宿泊業	42	270
N. 医療、福祉	18	228
O. 教育、学習支援業	11	23
P. 複合サービス業	2	31
Q. サービス業(他に分類されないもの)	74	451
合計	545	5,580

産業大分類	平成18年	
	事業所数	従業者数 (人)
A. B. C. 農林水産業	4	47
D. 鉱業	-	-
E. 建設業	89	424
F. 製造業	127	2,534
G. 電気・ガス・熱供給・水道業	1	12
H. 情報通信業	9	82
I. 運輸業	27	677
J. 卸売・小売業	152	1,314
K. 金融・保険業	4	40
L. 不動産業	24	52
M. 飲食店、宿泊業	44	301
N. 医療、福祉	25	352
O. 教育、学習支援業	26	264
P. 複合サービス業	4	73
Q. サービス業(他に分類されないもの)	87	402
R. 公務	5	100
合計	628	6,674

産業大分類	平成21年	
	事業所数	従業者数 (人)
A. B. 農林漁業	4	48
C. 鉱業, 採石業, 砂利採取業	1	2
D. 建設業	85	411
E. 製造業	125	2,965
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	1	9
G. 情報通信業	11	84
H. 運輸業, 郵便業	29	778
I. 卸売業, 小売業	154	1,415
J. 金融業, 保険業	7	64
K. 不動産業, 物品賃貸業	32	88
L. 学術研究, 専門・技術サービス業	23	64
M. 宿泊業, 飲食サービス業	44	346
N. 生活関連サービス業, 娯楽業	47	313
O. 教育, 学習支援業	26	393
P. 医療, 福祉	32	411
Q. 複合サービス事業	3	42
R. サービス業(他に分類されないもの)	24	299
S. 公務(他に分類されるものを除く)	5	111
合計	653	7,843

産業大分類	平成23年			平成26年			平成28年		
	事業所数	従業者数 (人)	売上金額 (百万円)	事業所数	従業者数 (人)	売上金額 (百万円)	事業所数	従業者数 (人)	売上金額 (百万円)
A. B. 農林漁業	4	39	X	8	99	241	7	86	405
C. 鉱業, 採石業, 砂利採取業	-	-	-	-	-	-	-	-	-
D. 建設業	72	353	4,227	70	339	5,630	64	313	4,569
E. 製造業	114	2,235	83,630	113	2,184	61,175	112	2,165	91,053
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	-	-	-	1	8	-	-	-	-
G. 情報通信業	8	76	703	8	74	841	7	66	902
H. 運輸業, 郵便業	27	727	9,438	27	767	10,241	27	750	11,692
I. 卸売業, 小売業	137	1,146	30,547	141	1,280	36,301	134	1,149	39,605
J. 金融業, 保険業	6	57	2,853	5	48	1,410	4	46	X
K. 不動産業, 物品賃貸業	32	79	532	33	74	735	31	77	1,120
L. 学術研究, 専門・技術サービス業	15	44	659	18	208	821	20	234	1,196
M. 宿泊業, 飲食サービス業	37	260	952	44	334	1,142	38	276	1,190
N. 生活関連サービス業, 娯楽業	43	175	2,843	55	224	8,037	53	269	4,424
O. 教育, 学習支援業	17	178	1,625	23	271	2,034	16	146	1,457
P. 医療, 福祉	31	360	2,102	37	606	3,100	34	471	3,059
Q. 複合サービス事業	4	53	X	3	47	756	2	39	X
R. サービス業(他に分類されないもの)	19	79	886	23	223	2,190	23	237	2,237
S. 公務(他に分類されるものを除く)				5	107				
合計	566	5,861	141,338	614	6,893	134,653	572	6,324	165,195

資料：事業所・企業統計調査、経済センサス

注1) 「-」は該当数値なし、「X」は統計法により公表を控えたもの

注2) 平成23年、平成28年は民営事業所のみでの集計となっている

注3) 売上金額は外国の会社及び法人でない団体を除いた民営事業所のみでの集計となっている

注4) 売上金額の「D. 建設業」、「F. 電気・ガス・熱供給・水道業」、「G. 情報通信業」、「H. 運輸業, 郵便業」、「J. 金融業, 保険業」、「O. 教育, 学習支援業」、「Q. 複合サービス事業」、「R. サービス業(他に分類されないもの)」、「合計」は試算値を記載

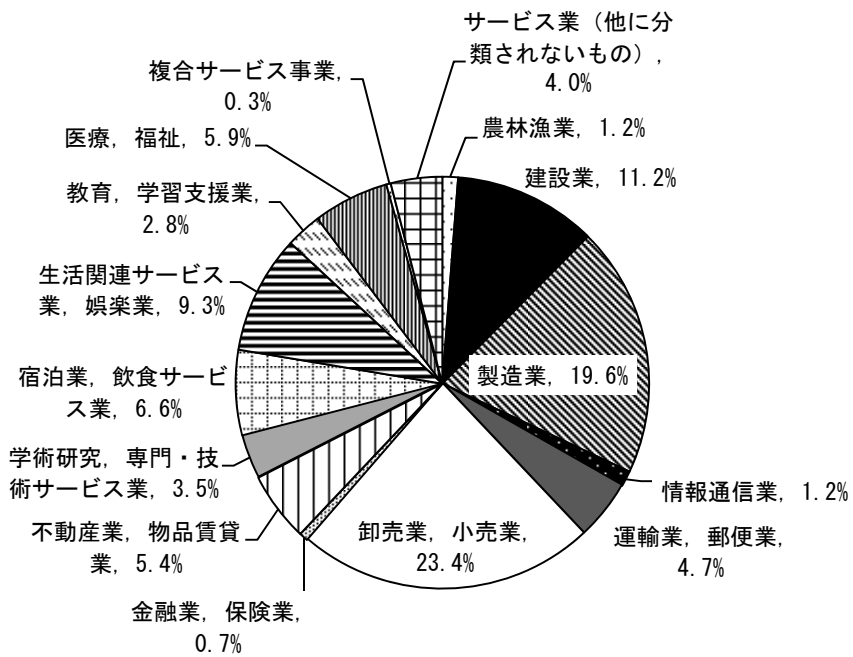
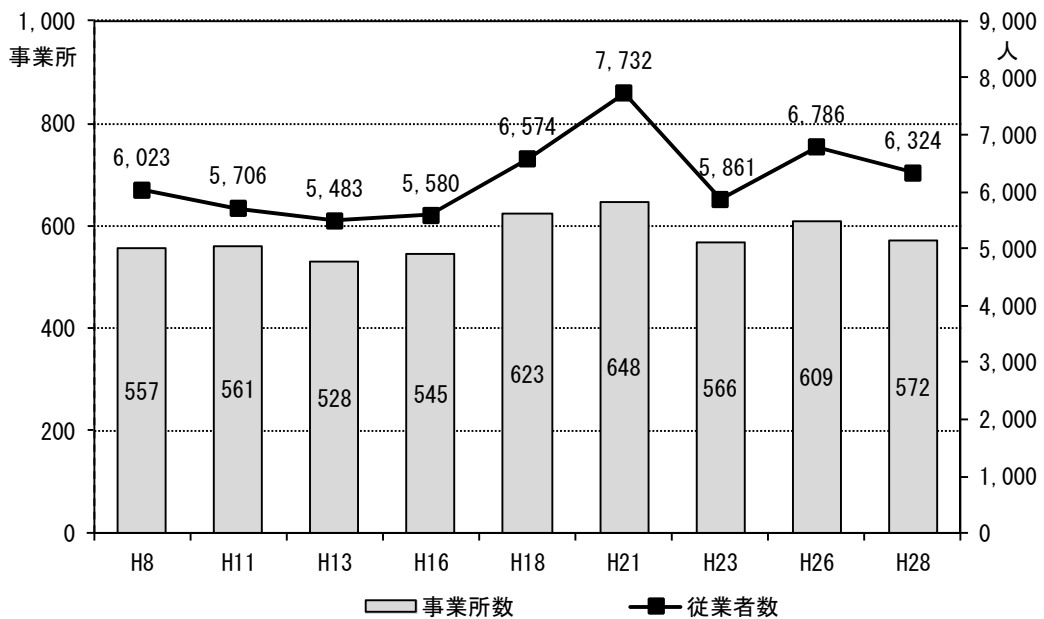


図 2 - 6 産業大分類別事業所数構成比（平成 28 年）



注) 民営事業所のみ

図 2 - 7 事業所数・従業者数推移

C0202-2 産業中分類別工業出荷額

工業出荷額の推移をみると、平成9年から平成20年までは800～1,000億円程度で推移していたが、平成21年及び平成24年から平成26年に600億円前後に減少し、近年は800億円前後で推移している。

平成28年の工業出荷額を産業中分類別に構成比でみると、電子部品・デバイス・電子回路が55.3%と全体の半数以上を占め、次いで生産用機械器具が14.8%を占めている。

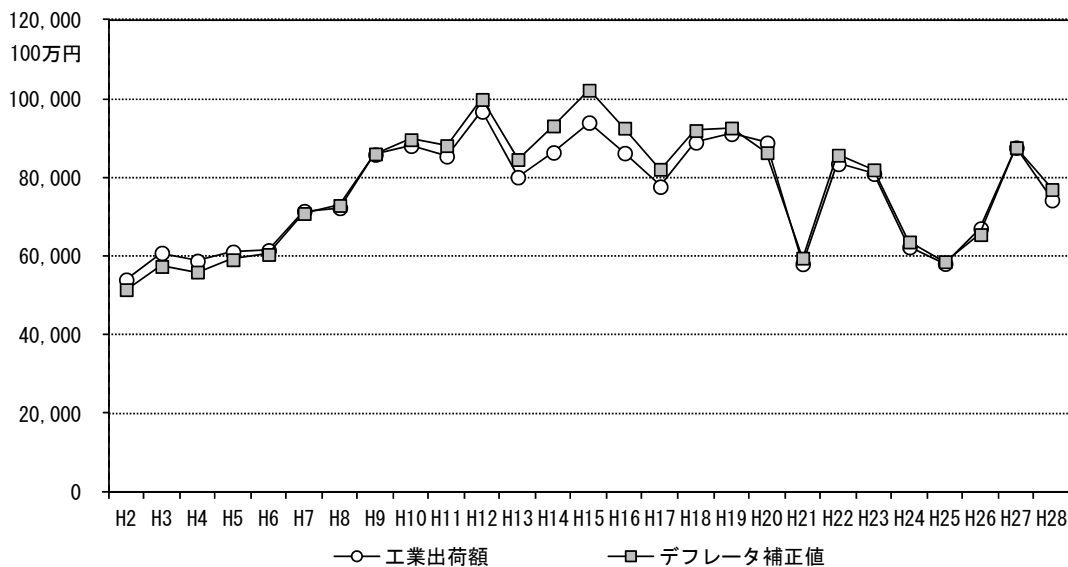


図2-8 工業出荷額推移

表2-7 工業出荷額推移

単位: 100万円

	工業出荷額	デフレーター補正值
平成2年	54,094	51,575
平成3年	60,892	57,463
平成4年	58,870	56,044
平成5年	61,177	59,170
平成6年	61,551	60,522
平成7年	71,516	70,919
平成8年	72,347	72,967
平成9年	85,904	86,055
平成10年	88,145	89,692
平成11年	85,467	88,178
平成12年	96,858	99,922
平成13年	80,161	84,655
平成14年	86,445	93,194
平成15年	94,037	102,279
平成16年	86,280	92,633
平成17年	77,745	82,147
平成18年	89,003	92,009
平成19年	91,181	92,656
平成20年	88,911	86,398
平成21年	58,107	59,591
平成22年	83,538	85,760
平成23年	81,036	82,020
平成24年	62,396	63,702
平成25年	58,177	58,666
平成26年	67,099	65,558
平成27年	87,661	87,661
平成28年	74,321	77,017

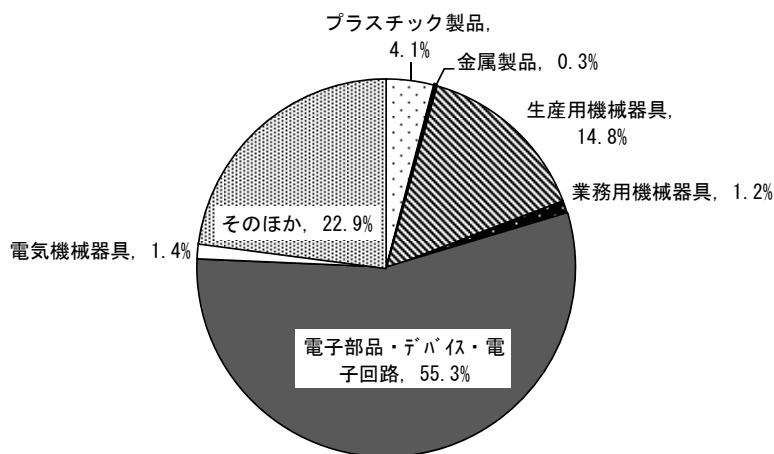


図2-9 産業中分類別工業出荷額構成比 (平成28年)

資料: 工業統計調査、経済センサス-活動調査

表2-8 産業中分類別工業出荷額推移

単位:100万円

産業中分類	平成2年		平成3年		平成4年		平成5年		平成6年		平成7年	
	出荷額	デフレタ 補正值	出荷額	デフレタ 補正值	出荷額	デフレタ 補正值	出荷額	デフレタ 補正值	出荷額	デフレタ 補正值	出荷額	デフレタ 補正值
合計	54,094	51,575	60,892	57,463	58,870	56,044	61,177	59,170	61,551	60,522	71,516	70,919
12. 食料品(製造業)	569	543	596	562	468	446	X	X	X	X	388	385
14. 繊維(工業)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15. 衣服その他の繊維製品	148	141	140	132	150	143	151	146	127	125	117	116
16. 木材・木製品	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	73	72
17. 家具・装飾品	X	X	X	X	X	X	34	33	X	X	33	33
18. パルプ・紙・紙加工品	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
19. 出版・印刷・同関連	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X
20. 化学	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	2,207	2,189
21. 石油製品・石炭製品	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	2,040	2,023
23. ゴム製品	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
24. なめし皮・同製品・毛皮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25. 窯業・土石製品	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
26. 鉄鋼	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
27. 非鉄金属	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
28. 金属製品	393	375	152	143	188	179	229	221	169	166	591	586
29. 一般機械器具	6,433	6,133	8,125	7,668	10,726	10,211	11,928	11,537	11,114	10,928	12,165	12,063
30. 電気機械器具	41,457	39,527	46,002	43,412	41,667	39,667	42,464	41,071	43,972	43,237	52,159	51,724
31. 輸送用機械器具	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-
32. 精密機械器具	356	339	704	664	707	673	772	747	356	350	760	754
33. 武器	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
34. その他の製造業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	X	X

産業中分類	平成8年		平成9年		平成10年		平成11年		平成12年		平成13年	
	出荷額	デフレタ 補正值	出荷額	デフレタ 補正值	出荷額	デフレタ 補正值	出荷額	デフレタ 補正值	出荷額	デフレタ 補正值	出荷額	デフレタ 補正值
合計	72,347	72,967	85,904	86,055	88,145	89,692	85,467	88,178	96,858	99,922	80,161	84,655
12. 食料品(製造業)	1,320	1,331	1,365	1,367	1,346	1,370	1,206	1,244	1,257	1,297	1,146	1,210
14. 繊維(工業)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15. 衣服その他の繊維製品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16. 木材・木製品	122	123	91	91	-	-	38	39	-	-	-	-
17. 家具・装飾品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18. パルプ・紙・紙加工品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19. 出版・印刷・同関連	501	505	558	559	500	509	249	257	236	243	-	-
20. 化学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21. 石油製品・石炭製品	3,009	3,035	3,494	3,500	3,533	3,595	2,132	2,200	2,447	2,524	1,014	1,071
23. ゴム製品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24. なめし皮・同製品・毛皮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25. 窯業・土石製品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
26. 鉄鋼	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
27. 非鉄金属	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28. 金属製品	607	612	574	575	906	922	922	951	1,102	1,137	613	647
29. 一般機械器具	13,245	13,359	15,715	15,743	14,148	14,396	12,401	12,794	15,796	16,296	14,255	15,054
30. 電気機械器具	52,175	52,622	59,810	59,915	63,086	64,193	63,514	65,529	71,156	73,407	58,567	61,850
31. 輸送用機械器具	-	-	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-
32. 精密機械器具	1,368	1,380	1,512	1,515	2,369	2,411	2,138	2,206	2,108	2,175	2,294	2,423
33. 武器	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
34. その他の製造業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

単位:100万円

産業中分類	平成14年		平成15年		平成16年		平成17年	
	出荷額	デフレタ補正值	出荷額	デフレタ補正值	出荷額	デフレタ補正值	出荷額	デフレタ補正值
合計	86,445	93,194	94,037	102,279	86,280	92,633	77,745	82,147
09. 食料品(製造業)	1,102	1,188	1,026	1,116	1,087	1,167	1,200	1,268
12. 衣服その他の繊維製品	-	-	-	-	-	-	-	-
13. 木材・木製品	-	-	-	-	-	-	-	-
15. パルプ・紙・紙加工品	-	-	-	-	-	-	-	-
16. 出版・印刷・同関連	-	-	-	-	-	-	-	-
17. 化学	-	-	-	-	-	-	-	-
19. 石油製品・石炭製品	1,227	1,323	1,047	1,139	1,147	1,231	-	-
20. ゴム製品	-	-	-	-	-	-	-	-
24. 非鉄金属	-	-	-	-	-	-	-	-
25. 金属製品	623	672	283	308	291	312	430	454
26. 一般機械器具	13,108	14,131	15,443	16,797	19,387	20,815	19,082	20,162
27. 電気機械器具	602	649	534	581	982	1,054	880	930
28. 情報	2,703	2,914	1,971	2,144	2,355	2,528	677	715
29. 電子	62,752	67,651	70,432	76,605	57,443	61,673	50,776	53,651
30. 輸送用機械器具	-	-	-	-	-	-	-	-
31. 精密機械器具	2,084	2,247	1,124	1,223	1,301	1,397	1,452	1,534
39. その他の製造業	-	-	-	-	-	-	-	-

産業中分類	平成18年		平成19年	
	出荷額	デフレタ補正值	出荷額	デフレタ補正值
合計	89,003	92,009	91,181	92,656
09. 食料	1,364	1,410	X	X
12. 衣服	-	-	-	-
15. 紙	X	X	X	X
16. 印刷	X	X	X	X
17. 化学	X	X	X	X
19. プラスチック	X	X	X	X
20. ゴム	X	X	X	X
24. 非鉄	X	X	X	X
25. 金属	480	496	368	374
26. 機械	22,182	22,931	21,975	22,331
27. 電機	2,249	2,325	1,874	1,904
28. 情報	878	907	1,259	1,279
29. 電子	55,594	57,471	58,151	59,091
30. 輸送	X	X	1,443	1,467
31. 精密	1,690	1,747	1,490	1,514

単位:100万円

産業中分類	平成20年		平成21年		平成22年	
	出荷額	デフレタ補正值	出荷額	デフレタ補正值	出荷額	デフレタ補正值
合計	88,911	86,398	58,107	59,591	83,538	85,760
09.食料	X	X	X	X	X	X
14.紙・パルプ	X	X	X	X	X	X
15.印刷	X	X	X	X	X	X
16.化学	X	X	X	X	X	X
18.プラスチック	2,588	2,515	2,098	2,151	2,275	2,335
19.ゴム	X	X	-	-	-	-
21.窯業	-	-	-	-	X	X
24.金属	X	X	X	X	X	X
25.はん用機械	11,743	11,411	X	X	X	X
26.生産用機械	9,459	9,191	4,437	4,550	8,073	8,288
27.業務用機械	1,800	1,750	1,114	1,143	1,270	1,304
28.電子	53,633	52,117	37,736	38,700	53,147	54,561
29.電気	1,944	1,889	1,331	1,365	2,268	2,329
30.情報	1,941	1,886	1,316	1,349	1,423	1,461
31.輸送	X	X	1,210	1,241	X	X

産業中分類	平成23年		平成24年		平成25年		平成26年		平成27年		平成28年	
	出荷額	デフレタ補正值	出荷額	デフレタ補正值	出荷額	デフレタ補正值	出荷額	デフレタ補正值	出荷額	デフレタ補正值	出荷額	デフレタ補正值
合計	81,036	82,020	62,396	63,702	58,177	58,666	67,099	65,558	87,661	87,661	74,321	77,017
09.食料品	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
10.飲料・たばこ・飼料	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11.繊維工業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12.木材・木製品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13.家具・装備品	-	-	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-
14.パルプ・紙・紙加工品	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
15.印刷・同関連業	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
16.化学工業	2,393	2,422	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
17.石油製品・石炭製品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18.プラスチック製品	2,472	2,502	2,787	2,845	2,685	2,708	2,826	2,761	5,346	5,346	3,022	3,132
19.ゴム製品	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20.なめし革・同製品・毛皮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21.窯業・土石製品	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
22.鉄鋼業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23.非鉄金属	-	-	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X
24.金属製品	1,200	1,215	388	396	303	306	400	391	X	X	203	210
25.はん用機械器具	10,162	10,285	X	X	9,333	9,411	9,748	9,524	12,992	12,992	X	X
26.生産用機械器具	6,883	6,967	7,111	7,260	6,751	6,808	9,038	8,830	6,806	6,806	11,034	11,434
27.業務用機械器具	426	431	1,472	1,503	1,215	1,225	1,114	1,088	1,446	1,446	881	913
28.電子部品・デバイス・電子回路	50,545	51,159	34,006	34,718	31,085	31,346	35,973	35,147	52,333	52,333	41,104	42,595
29.電気機械器具	3,572	3,615	321	328	311	314	1,114	1,088	1,047	1,047	1,034	1,072
30.情報通信機械器具	X	X	X	X	X	X	X	X	-	-	X	X
31.輸送用機械器具	X	X	1,232	1,258	X	X	1,405	1,373	X	X	X	X
32.その他の製造業	X	X	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

資料：工業統計調査、経済センサス-活動調査

注1) デフレタ補正值は、平成27年を100とした企業物価指数（日本銀行調査統計局）により割り戻した値

注2) 平成14年以降は事業者4人以上の事業所の数値、「-」は該当数値なし、「X」は統計法により公表を控えたもの

工業出荷額推計

デフレーター補正值による工業出荷額の推計をみると、等差式及び等比式によると増加傾向にあり、指数式、一次式及び片対数によると減少傾向にあることが推測される。

なお、本推計は数学的手法に基づいて算出した結果であり、過去の工業出荷額推移の影響を強く受けている。

表 2 - 9 工業出荷額推計

単位：100万円

	平成 7 年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成28年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年
実績値 (デフレーター補正值)	70,919	99,922	82,147	85,760	87,661	77,017	/	/	/	/
推計値 等差式	/	/	/	/	/	/	80,016	83,765	87,514	91,263
等比式	/	/	/	/	/	/	80,467	84,998	89,784	94,839
指数式	/	/	/	/	/	/	75,032	73,315	71,636	69,996
一次式	/	/	/	/	/	/	76,045	74,231	72,418	70,604
片対数	/	/	/	/	/	/	76,996	75,682	74,432	73,240

資料：工業統計調査、経済センサス-活動調査

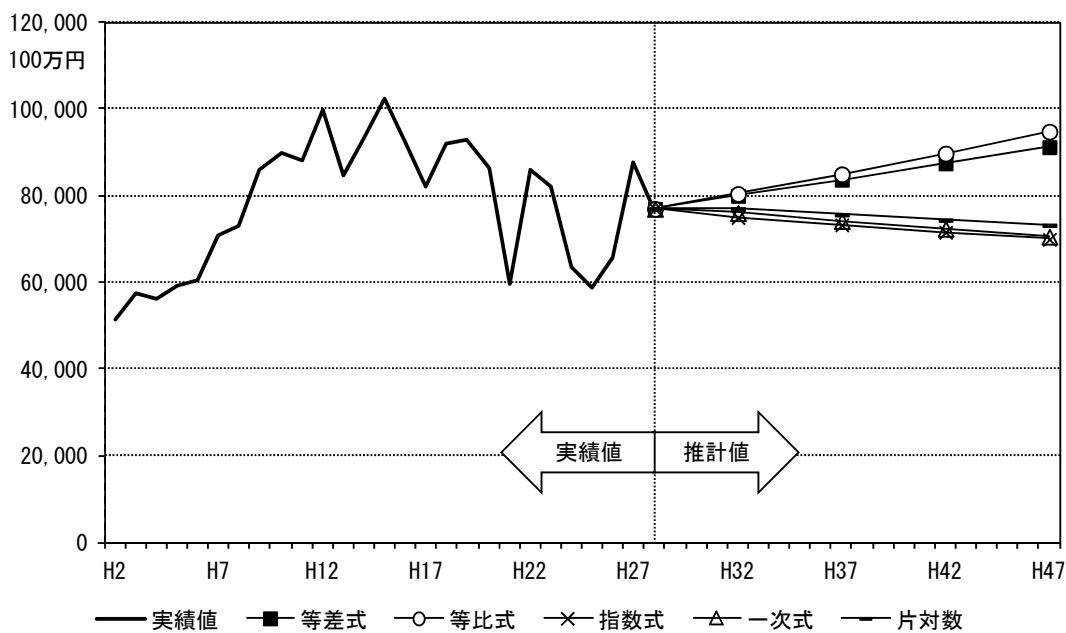
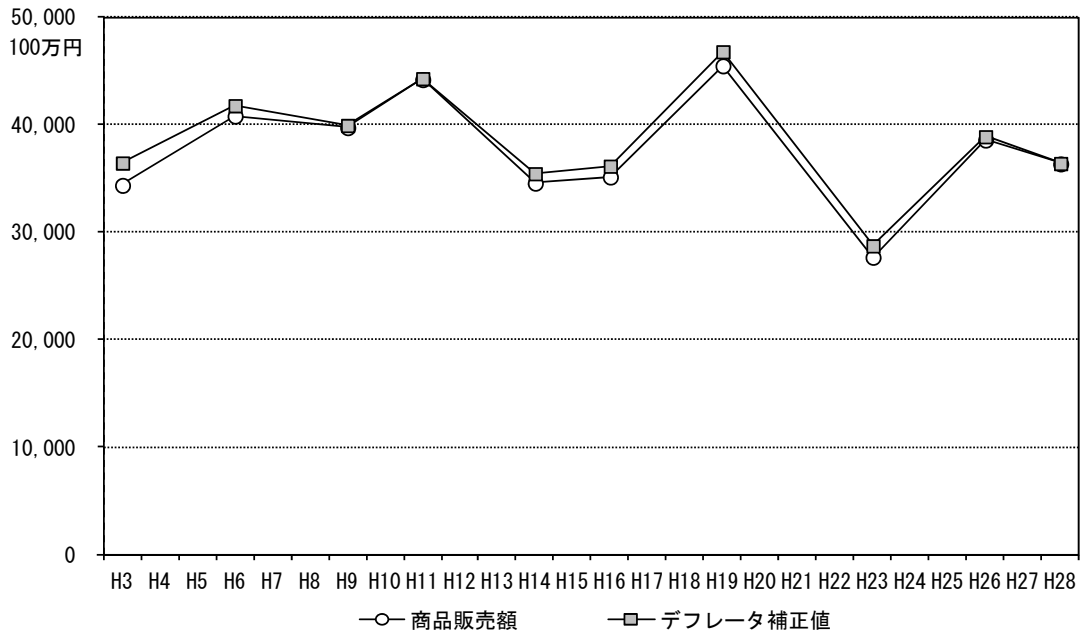


図 2 - 10 工業出荷額推計

C0202-3 産業中分類別商業販売額

年間商品販売額のデフレーター補正值での推移をみると、280～470 億円の間で増減を繰り返しており、平成 28 年には約 360 億円となっている。特に平成 19 年から平成 23 年にかけての減少幅が大きく、卸売業の減少が著しい。

また、平成 28 年の産業中分類別商品販売額を構成比でみると、機械器具卸売業が 26.1%と最も多くなっている。



注) 飲食店は含まない

図 2-11 年間商品販売額推移

表 2-10 年間商品販売額推移

単位: 100万円

	商品販売額	デフレーター補正值
平成 3 年	34,368	36,445
平成 6 年	40,810	41,771
平成 9 年	39,735	39,935
平成 11 年	44,197	44,286
平成 14 年	34,569	35,455
平成 16 年	35,141	36,153
平成 19 年	45,481	46,791
平成 23 年	27,681	28,745
平成 26 年	38,579	38,890
平成 28 年	36,363	36,399

資料: 商業統計調査、

経済センサス-活動調査 (卸売業・小売業)

注) 飲食店は含まない

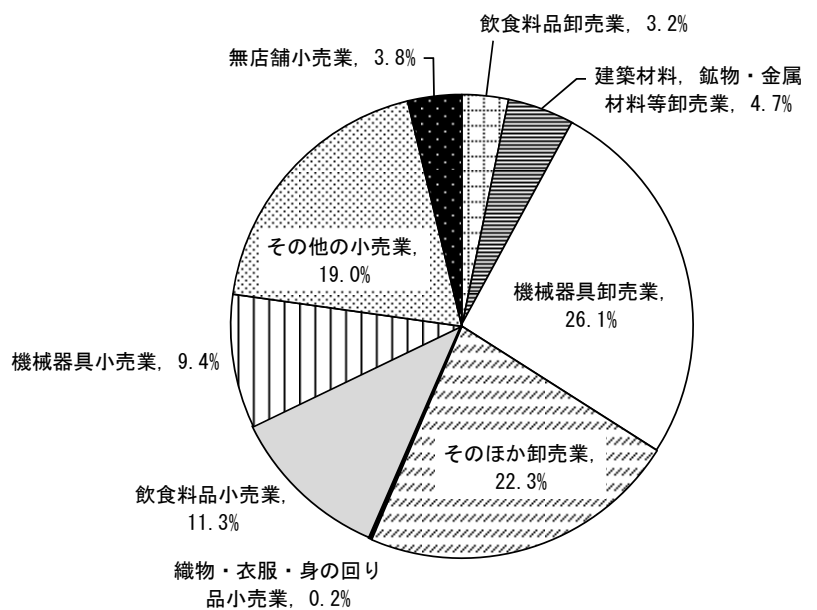


図 2-12 産業中分類別年間商品販売額構成比 (平成 28 年)

表 2-11 産業中分類別年間商品販売額推移

単位：100万円

産業中分類	平成3年		平成6年		平成9年		平成11年	
	販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值
合計	34,368	36,445	40,810	41,771	39,735	39,935	44,197	44,286
40～41.卸売業	21,593	22,898	24,234	24,805	21,486	21,594	27,417	27,472
42. 代理商、仲立業	-	-	-	-	-	-	-	-
小売業計	12,775	13,547	16,576	16,966	18,249	18,341	16,780	16,814
43. 各種商品小売業	-	-	-	-	-	-	-	-
44. 織物・衣服・身の回り品小売業	318	337	753	771	912	917	792	794
45. 飲食料品小売業	2,984	3,164	4,414	4,518	5,061	5,086	4,880	4,890
46. 飲食店	689	731						
47. 自動車・自転車小売業	4,968	5,268	4,980	5,097	5,394	5,421	5,069	5,079
48. 家具・建具・じゅう器等小売業	766	812	1,144	1,171	1,758	1,767	1,892	1,896
49. その他の小売業	3,739	3,965	5,285	5,409	5,124	5,150	4,147	4,155

産業中分類	平成14年		平成16年		平成19年	
	販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值
合計	34,569	35,455	35,141	36,153	45,481	46,791
49～54.卸売業	16,165	16,579	18,515	19,048	28,939	29,773
小売業計	18,404	18,876	16,626	17,105	16,542	17,019
55. 各種商品小売業	-	-	-	-	-	-
56. 織物・衣服・身の回り品小売業	681	698	650	669	214	220
57. 飲食料品小売業	6,342	6,505	5,223	5,373	5,283	5,435
58. 自動車・自転車小売業	4,314	4,425	4,643	4,777	4,280	4,403
59. 家具・じゅう器等小売業	3,520	3,610	1,099	1,131	560	576
60. その他の小売業	3,547	3,638	5,011	5,155	6,205	6,384

産業中分類	平成23年		平成26年		平成28年	
	販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值	販売額	デフレータ補正值
合計	27,681	28,745	38,579	38,890	36,363	36,399
卸売業計	15,718	16,322	26,203	26,414	20,492	20,513
50. 各種商品卸売業	-	-			X	X
51. 繊維・衣服等卸売業	X	X			-	-
52. 飲食料品卸売業	1,067	1,108			1,175	1,176
53. 建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	1,418	1,472			1,712	1,714
54. 機械器具卸売業	7,759	8,057			9,487	9,496
55. その他の卸売業	X	X			X	X
小売業計	11,963	12,423	12,376	12,476	15,871	15,887
56. 各種商品小売業	-	-	-	-	-	-
57. 織物・衣服・身の回り品小売業	80	83	X	X	64	64
58. 飲食料品小売業	3,519	3,654	3,878	3,909	4,113	4,117
59. 機械器具小売業	3,198	3,321	2,576	2,597	3,413	3,416
60. その他の小売業	4,773	4,956	X	X	6,914	6,921
61. 無店舗小売業	393	408	1,479	1,491	1,367	1,368

資料：商業統計調査、経済センサス-活動調査（卸売業・小売業）

注1) デフレータ補正值は、平成27年を100とした消費者物価指数（総務省統計局）により割り戻した値

注2) 「-」は該当数値なし、「X」は統計法により公表を控えたもの

注3) 平成11年までは合計及び小売業小計には、飲食店は含まれていない

注4) 平成3年の飲食店販売額は、平成4年調査の販売額である

注5) 平成26年について、町村別の卸売業の内訳は公表されていない

商業販売額推計

デフレータ補正值による商品販売額の推計をみると、推計方式により数値に幅はあるものの、減少傾向が続くことが推測される。

なお、本推計は数学的手法に基づいて算出した結果であり、過去の年間商品販売額推移の影響を強く受けている。

表 2-12 年間商品販売額推計

単位：100万円

	H 6	H 9	H11	H14	H16	H19	H23	H26	H28	H32	H37	H42	H47
実績値 (デフレータ補正值)	41,771	39,935	44,286	35,455	36,153	46,791	28,745	38,890	36,399	/	/	/	/
推計値 等差式	/	/	/	/	/	/	/	/	/	35,423	34,202	32,981	31,761
等比式	/	/	/	/	/	/	/	/	/	35,500	34,406	33,347	32,320
指数式	/	/	/	/	/	/	/	/	/	34,117	32,773	31,482	30,242
一次式	/	/	/	/	/	/	/	/	/	34,215	32,718	31,221	29,724
片対数	/	/	/	/	/	/	/	/	/	34,531	33,310	32,148	31,040

資料：商業統計調査、経済センサス活動調査（卸売業・小売業）

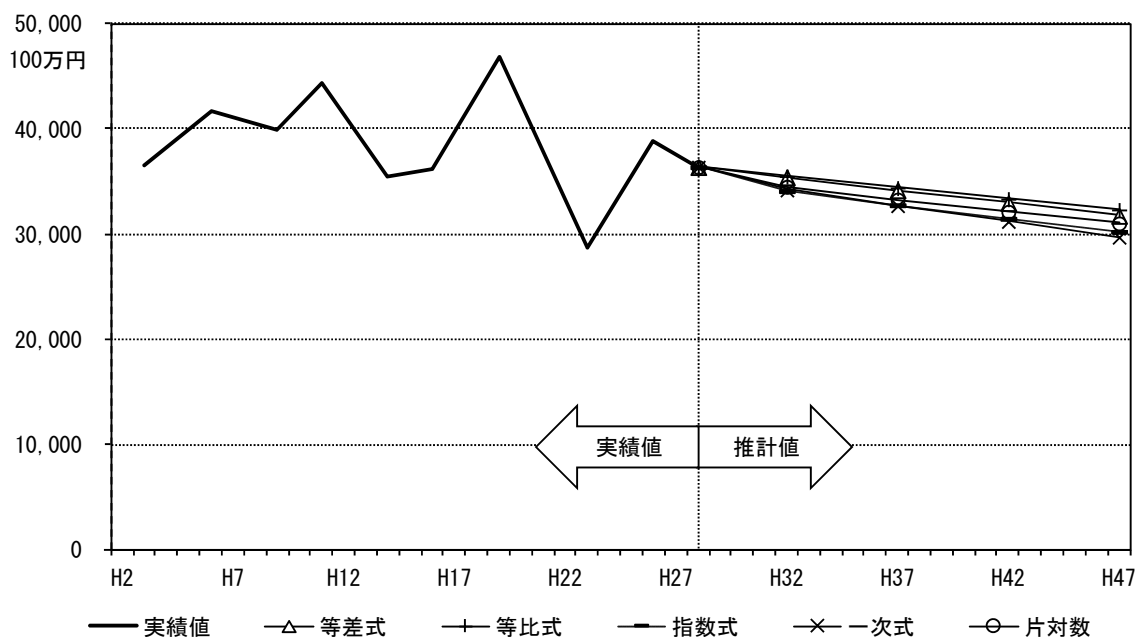


図 2-13 年間商品販売額推計

③ 土地利用

C0302 土地利用現況

C0302-2 土地利用別面積

都市計画区域における土地利用別現況は、自然的土地利用が 1,175.9ha (56.6%) であり、そのうち農地が 945.5ha (45.5%) を占めている。都市的土地利用は 903.1ha (43.4%) であり、そのうち宅地は 403.2ha (19.4%) である。

また、用途地域指定区域 637.0ha のうち 383.1ha (60.1%) が都市的土地利用であり、203.7ha (32.0%) が宅地である。農地は用途地域指定区域内に 124.3ha (19.5%) 残存している。用途地域指定外区域は 1,442.0ha のうち 922.0ha (63.9%) が自然的土地利用であり、農地が 821.2ha (56.9%) を占めている。

表 3-1 土地利用別面積

土地利用区分		都市計画区域						
		用途地域指定区域		用途地域指定外区域		面積 (ha)	構成比	
		面積 (ha)	構成比	面積 (ha)	構成比			
自然的 土地 利用	農 地	田	52.0	8.2%	418.1	29.0%	470.1	22.6%
		畑	72.3	11.4%	403.1	28.0%	475.4	22.9%
		小 計	124.3	19.5%	821.2	56.9%	945.5	45.5%
	山 林	99.5	15.6%	31.1	2.2%	130.6	6.3%	
	水 面	2.9	0.5%	16.5	1.1%	19.4	0.9%	
	その他の自然地	27.2	4.3%	53.2	3.7%	80.4	3.9%	
	小 計	253.9	39.9%	922.0	63.9%	1,175.9	56.6%	
都市的 土地 利用	宅 地	住宅用地	147.3	23.1%	117.1	8.1%	264.4	12.7%
		商業用地	17.9	2.8%	19.8	1.4%	37.7	1.8%
		工業用地	38.5	6.0%	62.6	4.3%	101.1	4.9%
		小 計	203.7	32.0%	199.5	13.8%	403.2	19.4%
	公共・公益用地	89.3	14.0%	106.6	7.4%	195.9	9.4%	
	道路用地	75.2	11.8%	148.9	10.3%	224.1	10.8%	
	交通施設用地	2.4	0.4%	2.9	0.2%	5.3	0.3%	
	その他の空地	12.5	2.0%	62.1	4.3%	74.6	3.6%	
	小 計	383.1	60.1%	520.0	36.1%	903.1	43.4%	
合 計		637.0	100.0%	1,442.0	100.0%	2,079.0	100.0%	
可 住 地		426.3	66.9%	1,110.1	77.0%	1,536.4	73.9%	
非 可 住 地		210.7	33.1%	331.9	23.0%	542.6	26.1%	

資料：土地利用現況図

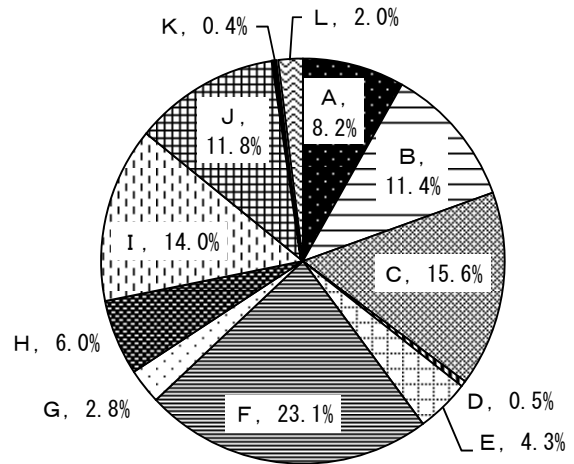
注 1) 「公共・公益用地」は土地利用現況図の「公益施設用地」と「公共空地」の合計

注 2) 非可住地は、以下の通りとする

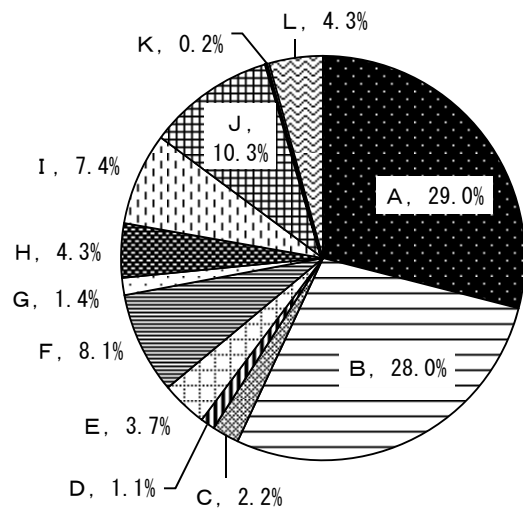
「水面」、「その他の自然地」、「商業用地」の内敷地面積 1ha 以上の大規模施設用地、「公共・公益用地」、「道路用地」、「交通施設用地」、「その他公的施設用地」

これらのほか、土地利用状況に関係なく全ての工業専用地域

用途地域指定区域	面積(ha)	構成比
A 田	52.0	8.2%
B 畑	72.3	11.4%
C 山林	99.5	15.6%
D 水面	2.9	0.5%
E その他の自然地	27.2	4.3%
F 住宅用地	147.3	23.1%
G 商業用地	17.9	2.8%
H 工業用地	38.5	6.0%
I 公共・公益用地	89.3	14.0%
J 道路用地	75.2	11.8%
K 交通施設用地	2.4	0.4%
L その他の空地	12.5	2.0%
合計	637.0	100.0%



用途地域指定外区域	面積(ha)	構成比
A 田	418.1	29.0%
B 畑	403.1	28.0%
C 山林	31.1	2.2%
D 水面	16.5	1.1%
E その他の自然地	53.2	3.7%
F 住宅用地	117.1	8.1%
G 商業用地	19.8	1.4%
H 工業用地	62.6	4.3%
I 公共・公益用地	106.6	7.4%
J 道路用地	148.9	10.3%
K 交通施設用地	2.9	0.2%
L その他の空地	62.1	4.3%
合計	1,442.0	100.0%



都市計画区域	面積(ha)	構成比
A 田	470.1	22.6%
B 畑	475.4	22.9%
C 山林	130.6	6.3%
D 水面	19.4	0.9%
E その他の自然地	80.4	3.9%
F 住宅用地	264.4	12.7%
G 商業用地	37.7	1.8%
H 工業用地	101.1	4.9%
I 公共・公益用地	195.9	9.4%
J 道路用地	224.1	10.8%
K 交通施設用地	5.3	0.3%
L その他の空地	74.6	3.6%
合計	2,079.0	100.0%

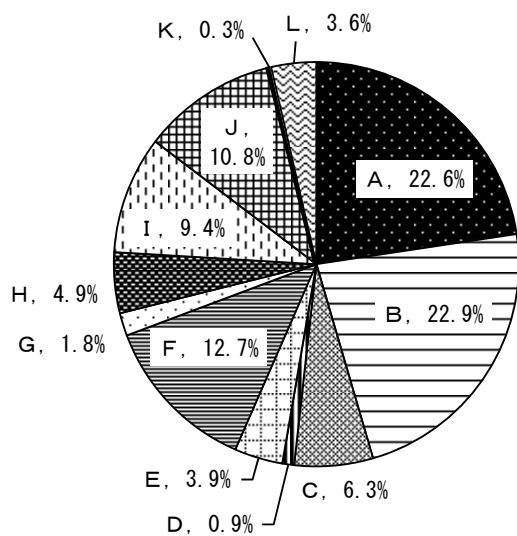


図3-1 土地利用別面積構成比

C0304 宅地開発状況

平成 25 年から平成 29 年の過去 5 年間の宅地開発状況は、開発許可による開発行為が 3 件 (1.8ha) となっており、用途は商業、工業、その他がそれぞれ 1 件ずつとなっている。

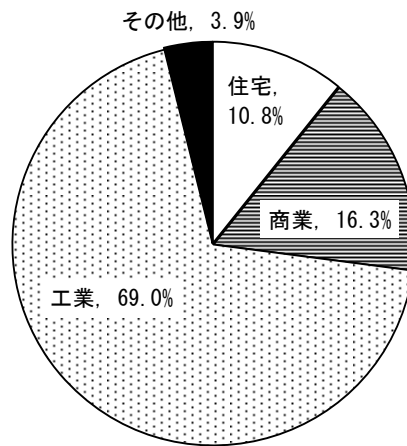
また、平成 29 年までの面整備実績の累計は 38.9ha で、そのうち平成 9 年以前が 20.7ha と半数以上を占めている。

表 3-2 開発行為許可状況

年次	都市計画区域				合計
	住宅 ㎡ (件)	商業 ㎡ (件)	工業 ㎡ (件)	その他 ㎡ (件)	
平成 2 年			37,895.77 (3)		37,895.77 (3)
平成 3 年			28,834.11 (3)		28,834.11 (3)
平成 4 年	3,378.00 (1)		37,491.66 (2)		40,869.66 (3)
平成 5 年			49,077.86 (3)		49,077.86 (3)
平成 6 年	4,847.90 (1)	15,246.42 (1)		3,864.55 (1)	23,958.87 (3)
平成 7 年			7,974.49 (1)		7,974.49 (1)
平成 8 年	8,818.28 (2)				8,818.28 (2)
平成 9 年			9,576.45 (1)		9,576.45 (1)
平成 10 年			4,348.25 (1)		4,348.25 (1)
平成 11 年					
平成 12 年			24,865.40 (2)		24,865.40 (2)
平成 13 年		11,351.10 (1)			11,351.10 (1)
平成 14 年	9,700.12 (1)		9,917.36 (1)		19,617.48 (2)
平成 15 年					
平成 16 年		13,364.44 (1)			13,364.44 (1)
平成 17 年	10,131.45 (1)				10,131.45 (1)
平成 18 年		11,731.86 (1)			11,731.86 (1)
平成 19 年		3,572.34 (1)	43,073.14 (4)		46,645.48 (5)
平成 20 年					
平成 21 年	5,017.42 (1)				5,017.42 (1)
平成 22 年		4,110.99 (1)		6,599.91 (1)	10,710.90 (2)
平成 23 年					
平成 24 年			5,644.81 (1)		5,644.81 (1)
平成 25 年					
平成 26 年					
平成 27 年			9,542.78 (1)		9,542.78 (1)
平成 28 年				4,687.40 (1)	4,687.40 (1)
平成 29 年		3,916.48 (1)			3,916.48 (1)
合計	41,893.17 (7)	63,293.63 (7)	268,242.08 (23)	15,151.86 (3)	388,580.74 (40)
H25~H29 合計		3,916.48 (1)	9,542.78 (1)	4,687.40 (1)	18,146.66 (3)

資料：開発許可申請書

注) 3,000 ㎡以上の開発行為について集計



注) 平成2年から平成29年までの合計面積割合

図3-2 用途別開発許可状況構成比

表3-3 面整備実績

完了年次	市街地開発事業等 (注1)	公的宅地開発 (注2)	開発許可等 (注3)	合計	累計
	ha	ha	ha	ha	ha
平成4年以前			10.8	10.8	10.8
平成5年～9年			9.9	9.9	20.7
平成10年～14年			6.0	6.0	26.7
平成15年～19年			8.2	8.2	34.9
平成20年～24年			2.1	2.1	37.0
平成25年～29年			1.8	1.8	38.9

資料：開発許可申請書

注1) 「公的宅地開発」「開発許可」以外のもの

注2) 市街地開発事業によらない、公団・公社・市町村等の公的住宅造成

注3) 開発許可による開発行為(3,000㎡以上のもの)、及び「(旧)住宅地造成事業に関する法律」により許可された宅地造成

注4) 「市街地開発事業等」「公的宅地開発」の面整備実績はない

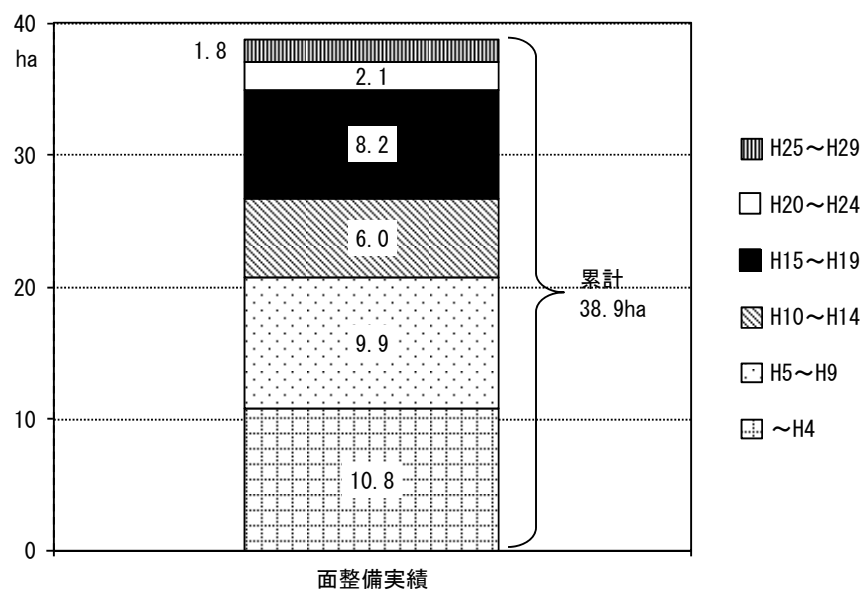


図3-3 面整備実績の累計

C0305 農地転用状況

平成24年から平成29年までの過去6年間の農地転用面積は、用途地域指定区域では約11.8ha、用途地域指定外区域では約22.2haの合計34.0haである。また、6年間の農地面積における転用率は用途地域指定区域が16.0%、用途地域指定外区域が4.9%となっており、用途地域指定区域における転用率の方が高い。

転用用途別にみると、用途地域指定区域、用途地域指定外区域でともに住宅用地への転用が約半数を占め、次いでその他への転用が多い。

表3-4 農地転用推移

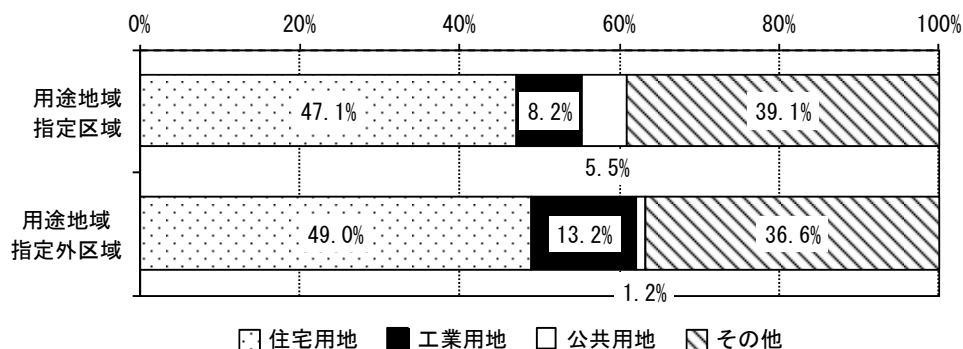
		住宅用地		工業用地		公共用地		その他		合計		前年度の農地面積	転用率
		件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積	件数	面積		
用途地域指定区域	平成24年	16	6,469.03	2	1,619.00	1	295.00	4	1,511.00	23	9,894.03	738,661.95	1.3
	平成25年	14	5,147.13	4	3,040.00	1	1,247.00	5	1,846.61	24	11,280.74	728,767.92	1.5
	平成26年	20	10,428.00			1	304.00	10	7,788.47	31	18,520.47	717,487.18	2.6
	平成27年	23	16,835.89	1	558.90	1	4,692.00	9	13,473.66	34	35,560.45	698,966.71	5.1
	平成28年	10	8,714.00	1	100.00			13	7,354.05	24	16,168.05	663,406.26	2.4
	平成29年	9	8,185.00	3	4,435.00			6	14,268.00	18	26,888.00	647,238.21	4.2
	合計	92	55,779.05	11	9,752.90	4	6,538.00	47	46,241.79	154	118,311.74		16.0
用途地域指定外区域	平成24年	47	22,679.00	2	1,945.00			10	2,391.89	59	27,015.89	4,543,902.24	0.6
	平成25年	36	16,437.62	3	1,974.00			17	6,241.88	56	24,653.50	4,516,886.35	0.5
	平成26年	40	18,212.35	8	16,790.01			17	36,950.00	65	71,952.36	4,492,232.85	1.6
	平成27年	26	16,410.00	4	6,588.23	1	2,599.00	14	11,825.51	45	37,422.74	4,420,280.49	0.8
	平成28年	41	23,728.00	2	2,058.00			14	10,385.23	57	36,171.23	4,382,857.75	0.8
	平成29年	24	11,197.00					13	13,497.92	37	24,694.92	4,346,686.52	0.6
	合計	214	108,663.97	19	29,355.24	1	2,599.00	85	81,292.43	319	221,910.64		4.9
合計	平成24年	63	29,148.03	4	3,564.00	1	295.00	14	3,902.89	82	36,909.92	5,282,564.18	0.7
	平成25年	50	21,584.75	7	5,014.00	1	1,247.00	22	8,088.49	80	35,934.24	5,245,654.26	0.7
	平成26年	60	28,640.35	8	16,790.01	1	304.00	27	44,738.47	96	90,472.83	5,209,720.02	1.7
	平成27年	49	33,245.89	5	7,147.13	2	7,291.00	23	25,299.17	79	72,983.19	5,119,247.19	1.4
	平成28年	51	32,442.00	3	2,158.00			27	17,739.28	81	52,339.28	5,046,264.00	1.0
	平成29年	33	19,382.00	3	4,435.00			19	27,765.92	55	51,582.92	4,993,924.72	1.0
	合計	306	164,443.02	30	39,108.14	5	9,137.00	132	127,534.22	473	340,222.38		6.4

資料：南箕輪村農業委員会、2015年農林業センサス

注1) 転用率＝過去1年間の農地転用面積／前年の農地面積×100
＝6年間の農地転用面積／6年前の農地面積×100

注2) 農地面積は、2015年農林業センサスの経営耕地面積をもとに、C0302-2土地利用別面積による農地面積割合を採用し算出した

注3) 一時転用についても含まれる



注) 平成24年から平成29年の合計面積割合

図3-4 農地転用面積構成比

C0307 新築状況

平成24年から平成29年までの過去6年間における都市計画区域の新築状況は、件数が599件、平均敷地面積が608.02㎡（約184坪）、平均建ぺい率が17.0%、平均容積率が23.5%である。

そのうち用途地域指定区域の件数は243件で全新築件数の40.6%を占め、平均建ぺい率、平均容積率はそれぞれ12.5%、17.4%である。

建物の用途別にみると、住宅が518件であり全体の86.5%を占めている。用途地域指定区域では住宅が86.0%、商業が4.9%、工業が3.3%となっている。

地域別にみると、北殿が128件と最も多く、21.4%を占めており、次いで大泉が93件で15.5%となっている。また、分布状況をみると、村北部では国道153号（箕輪バイパス）や一般県道吹上北殿線の周辺で、村南部では南原で比較的新築が集積している。

表3-5 用途地域内外別新築建物状況

	新築件数(件)					敷地面積 合計(㎡)	平均敷地 面積(㎡)	建築面積 合計(㎡)	平均 建ぺい 率(%)	延床面積 合計(㎡)	平均 容積率 (%)
	合計	住宅	商業	工業	他						
用途地域 指定区域	243	209	12	8	14	184,244.54	758.21	22,993.28	12.5	32,044.33	17.4
用途地域 指定外区域	356	309	7	13	27	179,961.32	505.51	38,761.13	21.5	53,461.82	29.7
都市計画 区域合計	599	518	19	21	41	364,205.86	608.02	61,754.41	17.0	85,506.15	23.5

資料：建築計画概要書(H24～H29)

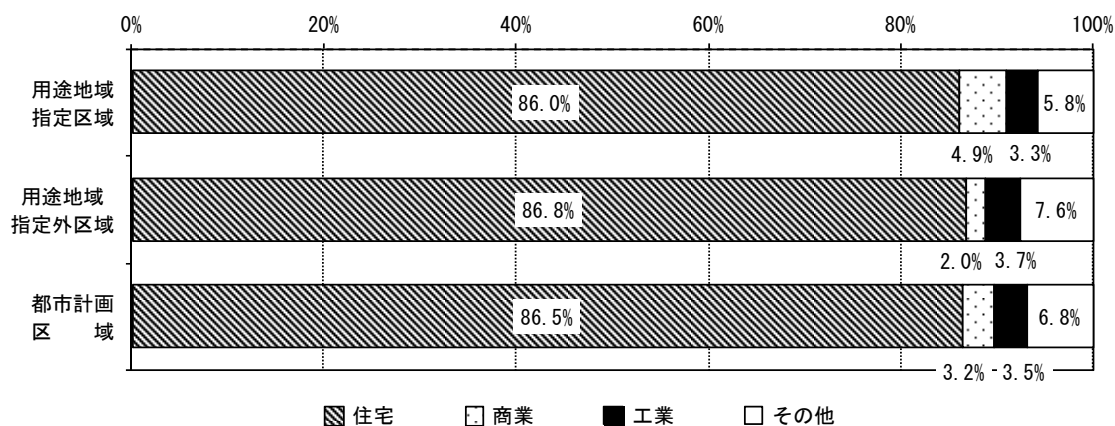


図3-5 用途別新築建物件数構成比

表 3-6 地域別新築状況

	新築件数(件)					敷地面積 合計(m ²)	平均敷地 面積(m ²)	建築面積 合計(m ²)	平均 建ぺい 率(%)	延床面積 合計(m ²)	平均 容積率 (%)
	合計	住宅	商業	工業	他						
久保	50	42	3	2	3	26,850	537.00	6,439	24.0	8,211	30.6
中込	10	10				3,450	344.95	668	19.4	1,074	31.1
塩ノ井	14	11		2	1	13,456	961.13	4,184	31.1	5,354	39.8
北殿	128	114	2	3	9	48,476	378.72	12,192	25.2	18,467	38.1
南殿	48	44	1		3	19,991	416.48	5,048	25.3	6,927	34.7
田畑	73	63	2	2	6	31,238	427.92	7,145	22.9	9,521	30.5
神子柴	51	35	9	5	2	105,300	2,064.70	4,821	4.6	6,477	6.2
沢尻	36	36				13,317	369.91	2,587	19.4	3,901	29.3
南原	85	78		6	1	48,574	571.46	8,710	17.9	12,121	25.0
大芝	11	5	1		5	16,140	1,467.30	2,280	14.1	2,411	14.9
大泉	93	80	1	1	11	37,415	402.32	7,680	20.5	11,042	29.5
北原											
都市計画 区域合計	599	518	19	21	41	364,205.86	608.02	61,754.41	17.0	85,506.15	23.5

資料：建築計画概要書(H24～H29)

表 3-7 地区別新築状況(用途地域指定区域・用途地域指定外区域別)

	新築件数(件)					敷地面積 合計(m ²)	平均敷地 面積(m ²)	建築面積 合計(m ²)	平均 建ぺい 率(%)	延床面積 合計(m ²)	平均 容積率 (%)
	合計	住宅	商業	工業	他						
久保	14	12			2	7,314.48	522.46	1,255.00	17.2	1,705.94	23.3
中込	10	10				3,449.53	344.95	667.69	19.4	1,074.22	31.1
塩ノ井	5	5				2,125.15	425.03	407.35	19.2	522.25	24.6
北殿	59	52	1	1	5	24,618.89	417.27	5,761.76	23.4	8,444.98	34.3
南殿	39	36	1		2	16,260.33	416.93	4,365.01	26.8	5,840.40	35.9
田畑	58	51	1	2	4	23,839.29	411.02	5,554.69	23.3	7,519.75	31.5
神子柴	39	24	9	5	1	99,290.85	2,545.92	3,675.39	3.7	4,919.14	5.0
沢尻	17	17				6,705.42	394.44	1,150.69	17.2	1,775.59	26.5
南原	2	2				640.60	320.30	155.70	24.3	242.06	37.8
用途地域 指定区域計	243	209	12	8	14	184,244.54	758.21	22,993.28	12.5	32,044.33	17.4
久保	36	30	3	2	1	19,535.59	542.66	5,183.78	26.5	6,504.99	33.3
中込											
塩ノ井	9	6		2	1	11,330.66	1,258.96	3,776.90	33.3	4,831.58	42.6
北殿	69	62	1	2	4	23,856.83	345.75	6,430.20	27.0	10,021.98	42.0
南殿	9	8			1	3,730.65	414.52	683.04	18.3	1,086.96	29.1
田畑	15	12	1		2	7,398.59	493.24	1,590.72	21.5	2,001.41	27.1
神子柴	12	11			1	6,008.67	500.72	1,145.21	19.1	1,557.93	25.9
沢尻	19	19				6,611.28	347.96	1,436.48	21.7	2,125.38	32.1
南原	83	76		6	1	47,933.33	577.51	8,554.53	17.8	11,878.55	24.8
大芝	11	5	1		5	16,140.30	1,467.30	2,280.03	14.1	2,410.83	14.9
大泉	93	80	1	1	11	37,415.42	402.32	7,680.24	20.5	11,042.21	29.5
北原											
用途地域 指定外区域計	356	309	7	13	27	179,961.32	505.51	38,761.13	21.5	53,461.82	29.7
都市計画 区域合計	599	518	19	21	41	364,205.86	608.02	61,754.41	17.0	85,506.15	23.5

資料：建築計画概要書(H24～H29)

表3-8 年別新築状況

		新築件数(件)					敷地面積 合計(m ²)	平均敷地 面積(m ²)	建築面積 合計(m ²)	平均 建ぺい 率(%)	延床面積 合計(m ²)	平均 容積率 (%)
		合計	住宅	商業	工業	他						
用途地域 指定区域	平成24年	45	31	6	4	4	23,170.69	514.90	4,212.68	18.2	5,781.92	25.0
	平成25年	43	38	2		3	95,210.72	2,214.20	3,415.87	3.6	4,910.79	5.2
	平成26年	37	33	2	2		14,726.73	398.02	2,963.35	20.1	4,130.26	28.0
	平成27年	30	26			4	13,723.35	457.45	3,229.42	23.5	4,511.63	32.9
	平成28年	46	43	1		2	18,833.66	409.43	5,031.05	26.7	6,804.32	36.1
	平成29年	42	38	1	2	1	18,579.39	442.37	4,140.91	22.3	5,905.41	31.8
	合計	243	209	12	8	14	184,244.54	758.21	22,993.28	12.5	32,044.33	17.4
用途地域 指定外区域	平成24年	50	45		3	2	31,770.11	635.40	8,804.30	27.7	11,832.17	37.2
	平成25年	83	67	2	4	10	35,796.08	431.28	7,179.96	20.1	10,825.29	30.2
	平成26年	57	51	1	1	4	19,797.95	347.33	4,935.68	24.9	6,968.93	35.2
	平成27年	61	53	1	3	4	43,139.29	707.20	7,032.83	16.3	9,360.93	21.7
	平成28年	50	46	2		2	22,583.10	451.66	5,254.94	23.3	7,308.94	32.4
	平成29年	55	47	1	2	5	26,874.79	488.63	5,553.42	20.7	7,165.56	26.7
	合計	356	309	7	13	27	179,961.32	505.51	38,761.13	21.5	53,461.82	29.7
都市計画 区域	平成24年	95	76	6	7	6	54,940.80	578.32	13,016.98	23.7	17,614.09	32.1
	平成25年	126	105	4	4	13	131,006.80	1,039.74	10,595.83	8.1	15,736.08	12.0
	平成26年	94	84	3	3	4	34,524.68	367.28	7,899.03	22.9	11,099.19	32.1
	平成27年	91	79	1	3	8	56,862.64	624.86	10,262.25	18.0	13,872.56	24.4
	平成28年	96	89	3		4	41,416.76	431.42	10,285.99	24.8	14,113.26	34.1
	平成29年	97	85	2	4	6	45,454.18	468.60	9,694.33	21.3	13,070.97	28.8
	合計	599	518	19	21	41	364,205.86	608.02	61,754.41	17.0	85,506.15	23.5

資料：建築計画概要書(H24～H29)



図3-6 新築建物分布図

C0308 条例・協定

都市計画に関する条例・要綱のうち県決定は、屋外広告物条例、都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例等がある。南箕輪村では、南箕輪村都市公園条例や南箕輪村都市計画審議会条例、南箕輪村景観条例等を定めている。

また、1地区で景観に関する住民協定が締結されている。

地域地区は用途地域が637ha指定されており、防火地域、準防火地域、高度利用地区、風致地区等の指定はない。

表3-9 都市計画に関する条例・要綱

決定主体	条例・要綱等の名称	公布・決定年月日		対象範囲	概要・主旨等
		当初	最終変更		
長野県	屋外広告物条例	H5. 10. 18	H29. 3. 23	長野県	屋外広告物法の規定に基づき、屋外広告物の表示、設置、維持並びに屋外広告業の規制に関する必要な事項を定めるもの
〃	屋外広告物条例施行規則	H6. 5. 26	H29. 7. 3	〃	屋外広告物条例の規定に基づき、条例の施行について必要な事項を定めるもの
〃	都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例	H16. 3. 29	H19. 10. 22	〃	開発許可等の基準に関し必要な事項を定めるもの
〃	都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例施行規則	H16. 6. 28		〃	都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例の施行に関し必要な事項を定めるもの
〃	都市計画法に基づく開発行為等の規制に関する規則	S46. 1. 28	H29. 3. 31	〃	開発行為等の規制に関し必要な事項を定めるもの
南箕輪村	南箕輪村都市公園条例	S60. 9. 30	H29. 6. 19	南箕輪村	南箕輪村都市公園の設置、管理等に関する必要な事項を定めるもの
〃	南箕輪村都市公園規則	S61. 2. 1	H28. 7. 25	〃	南箕輪村都市公園条例の規定に基づき、南箕輪村都市公園の管理等に関する必要な事項を定めるもの
〃	南箕輪村都市計画審議会条例	S46. 12. 23	H17. 3. 22	〃	都市計画審議会設置に関する必要な事項を定めるもの
〃	南箕輪村建築協定条例	H14. 12. 25		〃	建築基準法に規定する建築物に関する協定の実施に関する必要な事項を定めるもの
〃	南箕輪村建築協定条例施行規則	H14. 12. 25		〃	南箕輪村建築協定条例の施行に関する必要な事項を定めるもの
〃	南箕輪村公園条例	H17. 12. 20	H25. 3. 15	〃	南箕輪村公園の設置及び管理に関する必要な事項を定めるもの
〃	南箕輪村信州大芝高原みんなの森設置条例	H17. 12. 20	H24. 3. 16	〃	南箕輪村信州大芝高原みんなの森の設置及び管理に関する必要な事項を定めるもの
〃	南箕輪村信州大芝高原みんなの森管理規則	H17. 12. 20	H24. 3. 30	〃	南箕輪村信州大芝高原みんなの森の管理に関する必要な事項を定めるもの
〃	森の交流施設設置条例	H23. 9. 16		〃	地方自治法の規定に基づき、森の交流施設の設置及び管理について必要な事項を定めるもの
〃	森の交流施設管理規則	H23. 9. 16		〃	森の交流施設設置条例の規定に基づき、森の交流施設の管理に関し必要な事項を定めるもの

決定主体	条例・要綱等の名称	公布・決定年月日		対象範囲	概要・主旨等
		当初	最終変更		
南箕輪村	南箕輪村高齢者、障がい者等の移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める規則	H25. 3. 15		南箕輪村	高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に規定する移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定めるもの
〃	南箕輪村景観条例	H26. 12. 12		〃	景観法の規定に基づき景観計画の策定、行為の規制、景観重要建造物等の指定等に関し、必要な事項を定めるもの
〃	南箕輪村景観条例施行規則	H26. 12. 12		〃	景観法、景観法施行令、景観法施行規則及び南箕輪村景観条例の施行に関し、必要な事項を定めるもの
〃	南箕輪村屋外広告物に関する規則	H12. 3. 21	H29. 9. 26	〃	屋外広告物条例等の施行について必要な事項を定めるもの
〃	南箕輪村屋外広告物違反処理要綱	H29. 10. 1		〃	屋外広告物法及び屋外広告物条例の規定に基づき、違反広告物等に対する除却その他必要な措置に係る手続きに関し、必要な事項を定めるもの

資料：長野県法規集、南箕輪村例規集

注) 交付金、補助金等に関する条例・要綱は除く

表3-10 住民協定一覧

協定の名称	決定年月日	期限	協定の内容
南原地区まちづくり景観形成住民協定	H9. 3. 19認定	5年間 ^注	南原地区における環境整備と景観形成に必要な事項について定め、安全で住みやすい美しいまちづくりを進めるための協定

資料：建設水道課

注) 有効期間満了前に協定者の過半数に廃止の意思がないときは、さらに5年間延長し、以後も同様とする

表3-11 都市地域（用途地域）

用途地域指定外区域 (ha)	用途地域指定区域 (ha)														備考
	総面積	第一種低層住居専用地域	第二種低層住居専用地域	第一種中高層住居専用地域	第二種中高層住居専用地域	第一種住居地域	第二種住居地域	準住居地域	田園住居地域	近隣商業地域	商業地域	準工業地域	工業地域	工業専用地域	
1,442	637	124		115		264		17		11		93		13	用途地域決定年月日 最終平成29年3月6日 人口総数 15,063人 (平成27年国勢調査)

資料：建設水道課

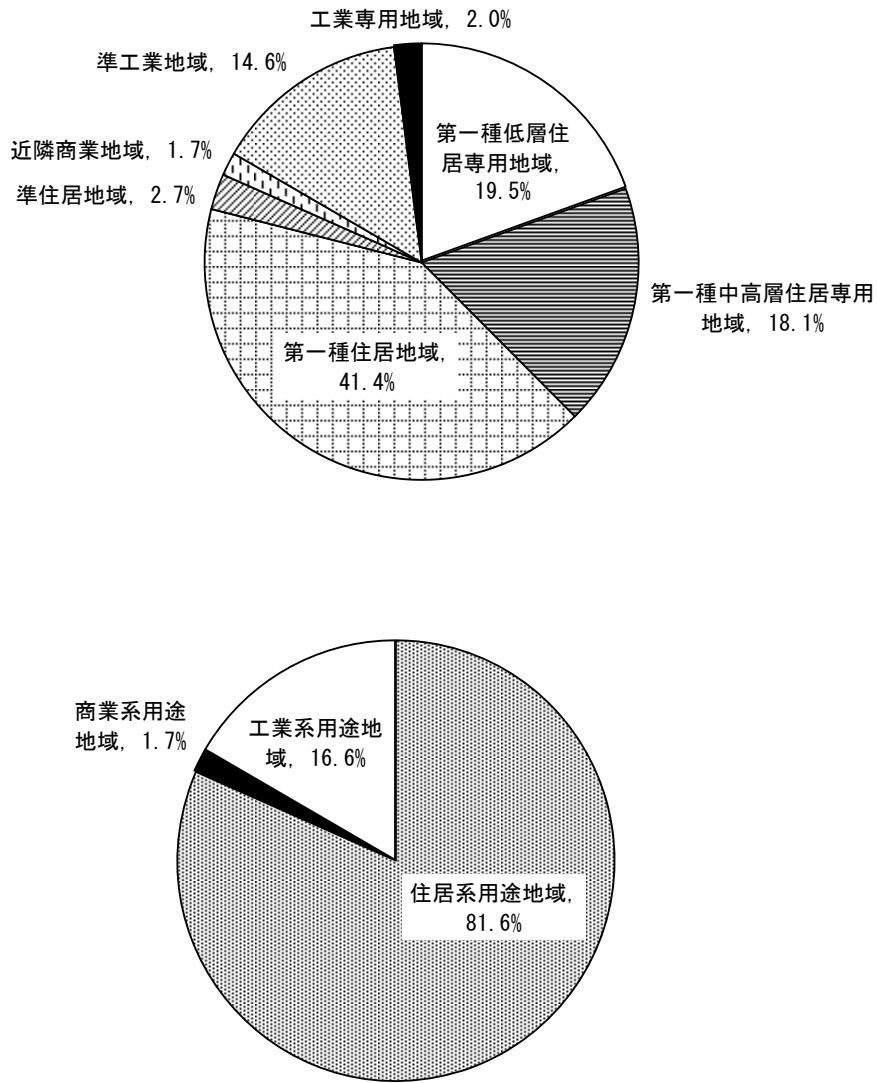


図 3 - 7 用途地域指定区域面積構成比

④ 建 物

C0401 建物用途別現況

C0401-2 地区別木造率現況

用途地域指定区域における地区別木造建物の棟数比率をみると、南原が86.0%と最も高く、次いで久保が81.5%と高い値を示している。

用途地域指定区域全体では木造建物の棟数比率が76.4%、延べ床面積比率が58.3%となっている。

表4-1 地区別木造率現況

地 区 名	全建物 棟数(棟)	全建物 延床面積 (㎡)	木 造 建 物			
			棟数(棟)	比率(%)	延床面積(㎡)	比率(%)
久 保	439	40,731.56	358	81.5	31,627.03	77.6
中 込	208	18,674.82	155	74.5	11,646.75	62.4
塩 ノ 井	225	28,885.76	166	73.8	13,213.38	45.7
北 殿	1,439	177,838.73	1,099	76.4	98,528.22	55.4
南 殿	589	74,747.33	459	77.9	44,194.55	59.1
田 畑	1,252	135,870.13	993	79.3	93,986.75	69.2
神 子 柴	974	147,424.05	667	68.5	60,602.43	41.1
沢 尻	592	73,749.06	469	79.2	51,633.28	70.0
南 原	50	5,646.98	43	86.0	4,960.33	87.8
用途地域指定区域	5,768	703,568.42	4,409	76.4	410,392.72	58.3

資料：財務省、長野県財産活用課財産企画係、家屋課税台帳、村有財産帳他

注) 非課税分を含む

C0401-3 地区別建ぺい率現況

用途地域指定区域における地区別ネット建ぺい率をみると、塩ノ井が31.4%と最も高く、次いで北殿が30.3%、神子柴が27.3%となっている。

用途地域指定区域全体ではネット建ぺい率が27.0%、グロス建ぺい率が7.7%となっている。

表4-2 地区別建ぺい率現況

地区名	ネット建ぺい率			前回 建ぺい率 B(%)	建ぺい率 の増減 A-B(%)	グロス建ぺい率		現況用途地域及び指定建ぺい率
	宅地面積 合計(㎡)	建築面積 合計(㎡)	建ぺい率 A(%)			地区面積 合計(㎡)	建ぺい率 (%)	
久保	118,327.8	28,886.92	24.4	22.8	1.6	501,000	5.8	1住(60) 1低(40)
中込	61,253.1	13,446.66	22.0	14.4	7.6	139,000	9.7	1住(60) 1低(40)
塩ノ井	74,849.3	23,528.76	31.4	18.3	13.1	182,000	12.9	1住(60) 1低(40,50) 準住(60) 工専(60)
北殿	426,775.8	129,455.21	30.3	21.1	9.2	1,031,000	12.6	1住(60) 1低(50) 1中高(60) 準住(60) 近商(80) 準工(60) 工専(60)
南殿	192,936.7	51,594.93	26.7	21.7	5.0	577,000	8.9	1住(60) 1中高(60) 準住(60) 近商(80) 準工(60)
田畑	382,182.1	96,163.27	25.2	22.6	2.6	1,317,000	7.3	1住(60) 1低(40) 準住(60) 近商(80) 準工(60)
神子柴	358,434.8	97,678.49	27.3	24.1	3.2	1,817,000	5.4	1住(60) 1低(40) 1中高(60) 準住(60) 近商(80) 準工(60)
沢尻	187,518.6	47,289.16	25.2	21.6	3.6	706,000	6.7	1住(60) 1低(40) 1中高(60)
南原	20,227.1	3,693.96	18.3	12.8	5.5	100,000	3.7	1住(60) 1低(40)
用途地域 指定区域	1,822,505.3	491,737.36	27.0	26.8	0.2	6,370,000	7.7	

資料：財務省、長野県財産活用課財産企画係、家屋課税台帳、村有財産帳他

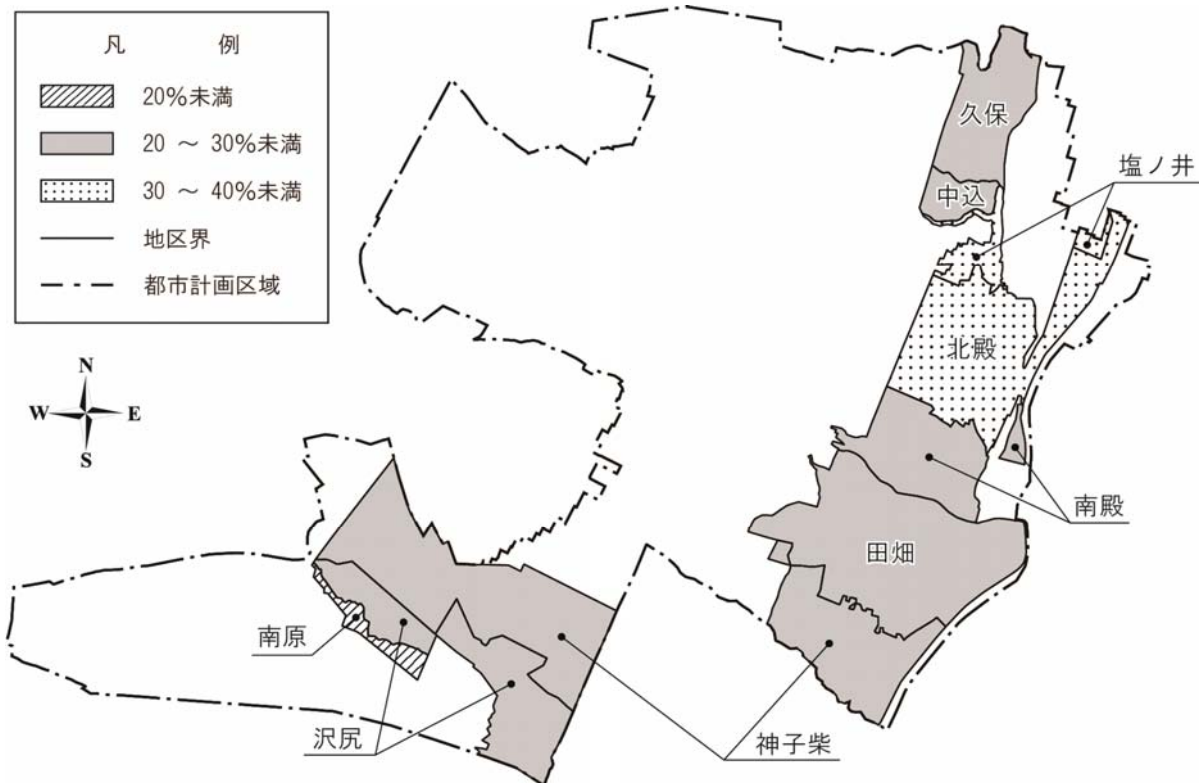


図4-1 地区別建ぺい率現況（ネット建ぺい率）

C0401-4 地区別容積率現況

用途地域指定区域における地区別ネット容積率をみると、北殿が41.7%と最も高く、次いで神子柴が41.1%、沢尻が39.3%となっている。

用途地域指定区域全体ではネット容積率38.6%、グロス容積率11.0%となっている。

表4-3 地区別容積率現況

地区名	ネット容積率			前回 容積率 B(%)	容積率 の増減 A-B(%)	グロス容積率		現況用途地域及び指定容積率
	宅地面積 合計(㎡)	延床面積 合計(㎡)	容積率 A(%)			地区面積 合計(㎡)	容積率 (%)	
久保	118,327.8	40,731.56	34.4	35.2	-0.8	501,000	8.1	1住(200) 1低(60)
中込	61,253.1	18,674.82	30.5	20.7	9.8	139,000	13.4	1住(200) 1低(60)
塩ノ井	74,849.3	28,885.76	38.6	31.6	7.0	182,000	15.9	1住(200) 1低(60,80) 準住(200) 工専(200)
北殿	426,775.8	177,838.73	41.7	33.5	8.2	1,031,000	17.2	1住(200) 1低(80) 1中高(200) 準住(200) 近商(200) 準工(200) 工専(200)
南殿	192,936.7	74,747.33	38.7	35.2	3.5	577,000	13.0	1住(200) 1中高(200) 準住(200) 近商(200) 準工(200)
田畑	382,182.1	135,870.13	35.6	37.2	-1.6	1,317,000	10.3	1住(200) 1低(60) 準住(200) 近商(200) 準工(200)
神子柴	358,434.8	147,424.05	41.1	42.2	-1.1	1,817,000	8.1	1住(200) 1低(60) 1中高(200) 準住(200) 近商 (200)
沢尻	187,518.6	73,749.06	39.3	36.7	2.6	706,000	10.4	1住(200) 1低(60) 1中高(200)
南原	20,227.1	5,646.98	27.9	21.6	6.3	100,000	5.6	1住(200) 1低(60)
用途地域 指定区域	1,822,505.3	703,568.42	38.6	34.6	4.0	6,370,000	11.0	

資料：財務省、長野県財産活用課財産企画係、家屋課税台帳、村有財産帳帳

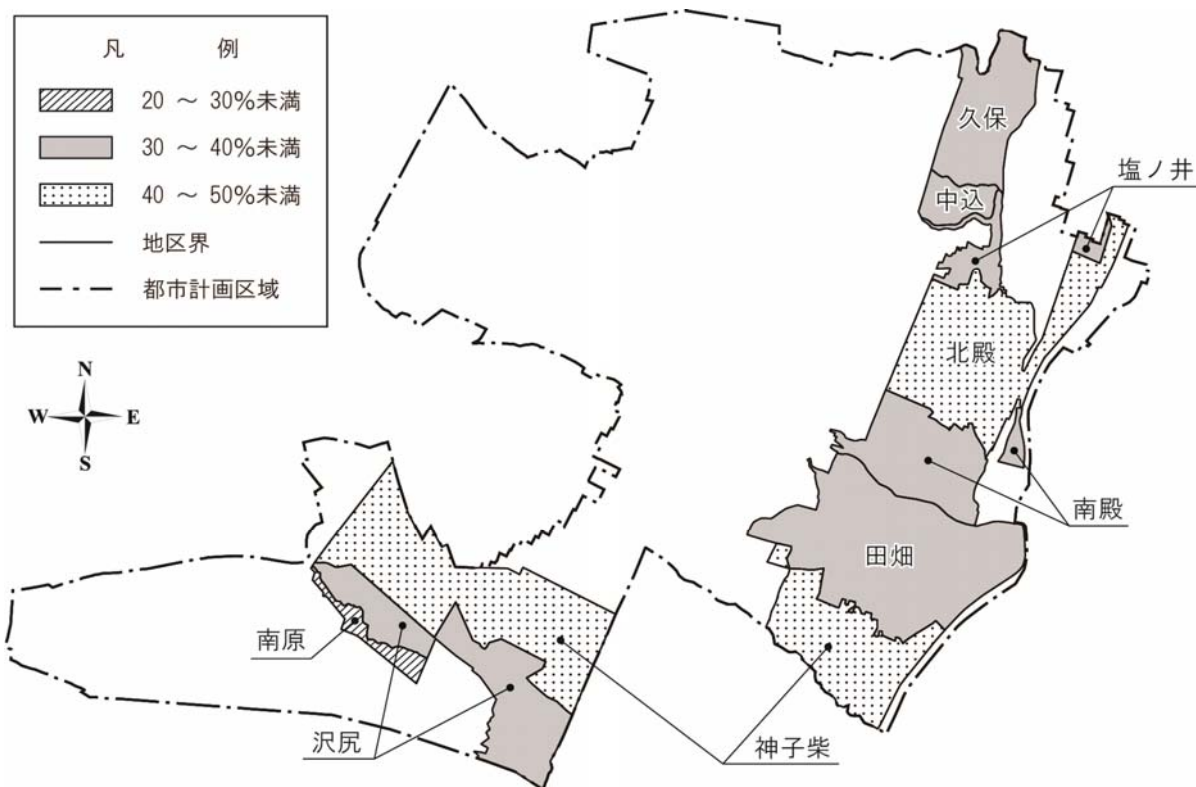


図4-2 地区別容積率現況（ネット容積率）

C0401-5 地区別、用途別の建物延べ床面積現況

用途地域指定区域における用途別の建物延べ床面積をみると、703,568.42 m²のうち住宅が67.4%を占めており、次いで専用工場・倉庫が14.0%、専用店舗・事務所及びそのほかがそれぞれ7.9%となっている。

地区別の最大延べ床面積を占めている建物用途をみると、すべての地区で住宅が占める割合が最も高くなっているが、工業専用地域を含む塩ノ井では専用工場・倉庫が46.9%と他地区に比べ高い値を示している。また、商業施設が集積する伊那インターチェンジへのアクセス道路がある神子柴では、専用店舗・事務所が24.3%と他地区に比べ高くなっている。

表4-4 地区別用途別建物延べ床面積現況

地区名	住宅		工場・倉庫併用住宅		専用工場・倉庫		店舗・事務所併用住宅		専用店舗・事務所		その他		合計	
	延面積 (m ²)	比率 (%)	延面積 (m ²)	比率 (%)	延面積 (m ²)	比率 (%)	延面積 (m ²)	比率 (%)	延面積 (m ²)	比率 (%)	延面積 (m ²)	比率 (%)	延面積 (m ²)	比率 (%)
久保	36,241.49	89.0	438.00	1.1	2,874.77	7.1	612.88	1.5	474.42	1.2	90.00	0.2	40,731.56	100.0
中込	18,620.29	99.7			54.53	0.3							18,674.82	100.0
塩ノ井	14,122.10	48.9	395.90	1.4	13,555.75	46.9	414.23	1.4	360.87	1.2	36.91	0.1	28,885.76	100.0
北殿	107,160.80	60.3	1,266.00	0.7	29,892.60	16.8	6,087.21	3.4	4,833.12	2.7	28,599.00	16.1	177,838.73	100.0
南殿	46,775.08	62.6	460.14	0.6	10,598.24	14.2	1,946.13	2.6	5,504.27	7.4	9,463.47	12.7	74,747.33	100.0
田畑	104,285.01	76.8	517.93	0.4	19,189.51	14.1	2,731.98	2.0	7,269.94	5.4	1,875.76	1.4	135,870.13	100.0
神子柴	76,557.00	51.9	578.40	0.4	20,726.79	14.1	2,287.47	1.6	35,885.30	24.3	11,389.09	7.7	147,424.05	100.0
沢尻	65,712.33	89.1			1,107.64	1.5	1,329.97	1.8	1,495.52	2.0	4,103.60	5.6	73,749.06	100.0
南原	5,058.08	89.6			189.49	3.4	379.58	6.7	19.83	0.4			5,646.98	100.0
用途地域指定区域	474,532.18	67.4	3,656.37	0.5	98,189.32	14.0	15,789.45	2.2	55,843.27	7.9	55,557.83	7.9	703,568.42	100.0

資料：財務省、長野県財産活用課財産企画係、家屋課税台帳、村有財産帳他

注) 非課税分を含む

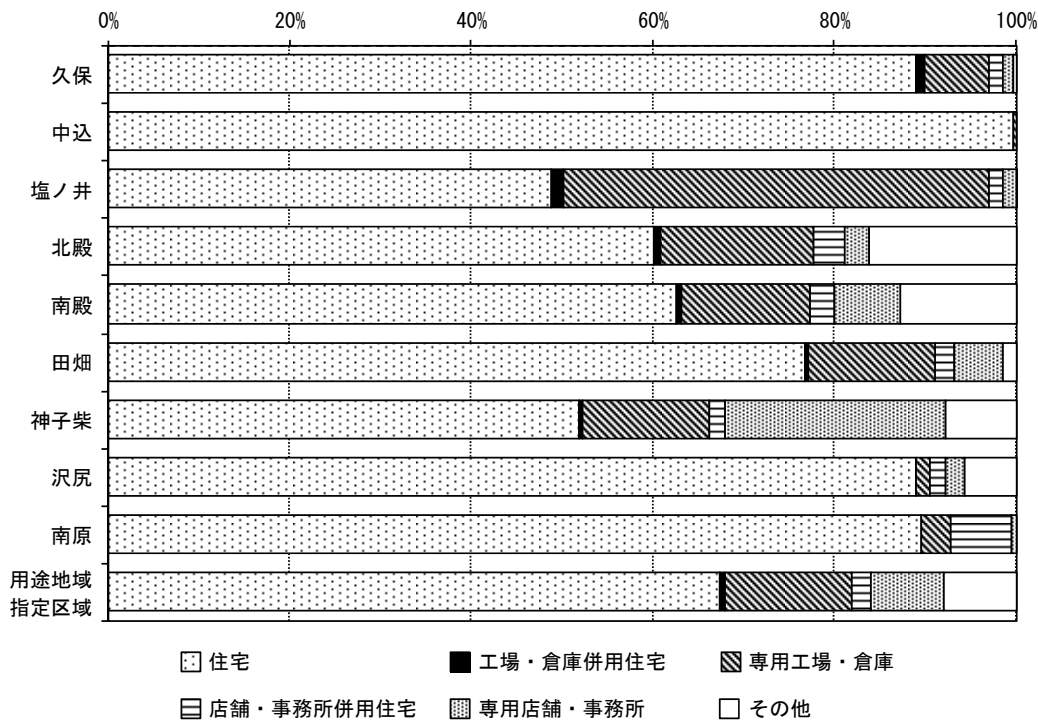


図4-3 地区別用途別建物延べ床面積構成比

C0401-6 建物年齢別現況

用途地域指定区域における建物年齢別現況は、30年以上（昭和56年以前）が2,358棟と全体の40.9%を占めており、昭和57年以降のものも含めると30年以上が半数以上を占めている。

地区別では、建物年齢が30年以上（昭和56年以前）の建物の割合が塩ノ井で60.9%と最も高く、続いて久保が51.5%、中込が50.5%となっている。一方、南原には30年以上の建物はなく、用途地域の北部では築年数が古い建物の割合が高く、南部では築年数が浅い建物の割合が高い。

表4-5 地区別建物年齢別現況

地区名	全建物 棟数	0~4年		5~9年		10~14年		15~19年		20~24年		25~29年		30年以上			
		棟数	比率	棟数	比率	棟数	比率	棟数	比率	棟数	比率	棟数	比率	(S57以降)		(S56以前)	
														棟数	比率	棟数	比率
久保	439	15	3.4	15	3.4	25	5.7	35	8.0	50	11.4	30	6.8	43	9.8	226	51.5
中込	208	7	3.4	8	3.8	15	7.2	9	4.3	14	6.7	19	9.1	31	14.9	105	50.5
塩ノ井	225	7	3.1	3	1.3	7	3.1	12	5.3	17	7.6	16	7.1	26	11.6	137	60.9
北殿	1,439	65	4.5	63	4.4	84	5.8	106	7.4	144	10.0	160	11.1	207	14.4	610	42.4
南殿	589	38	6.5	35	5.9	29	4.9	44	7.5	66	11.2	61	10.4	71	12.1	245	41.6
田畑	1,252	59	4.7	60	4.8	81	6.5	120	9.6	143	11.4	151	12.1	146	11.7	492	39.3
神子柴	974	30	3.1	37	3.8	63	6.5	95	9.8	103	10.6	131	13.4	146	15.0	369	37.9
沢尻	592	23	3.9	27	4.6	32	5.4	37	6.3	111	18.8	106	17.9	82	13.9	174	29.4
南原	50	4	8.0	6	12.0	2	4.0	7	14.0	9	18.0	22	44.0				
用途地域指定区域	5,768	248	4.3	254	4.4	338	5.9	465	8.1	657	11.4	696	12.1	752	13.0	2,358	40.9

資料：財務省、長野県財産活用課財産企画係、家屋課税台帳、村有財産帳他

注) 非課税分を含む

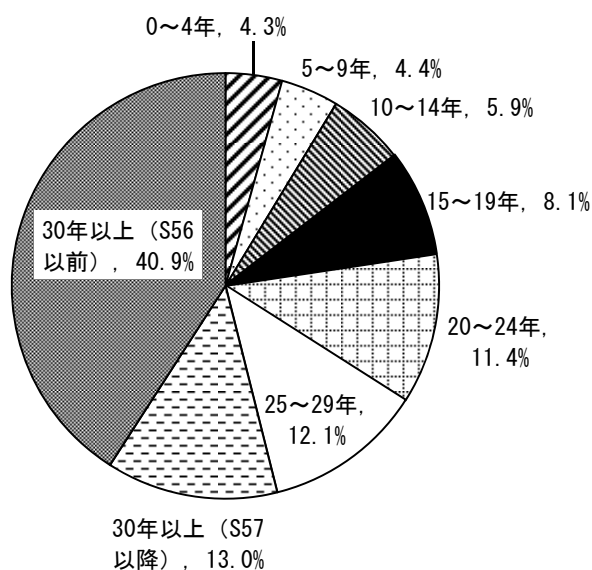


図4-4 建物年齢別構成比 (用途地域指定区域)

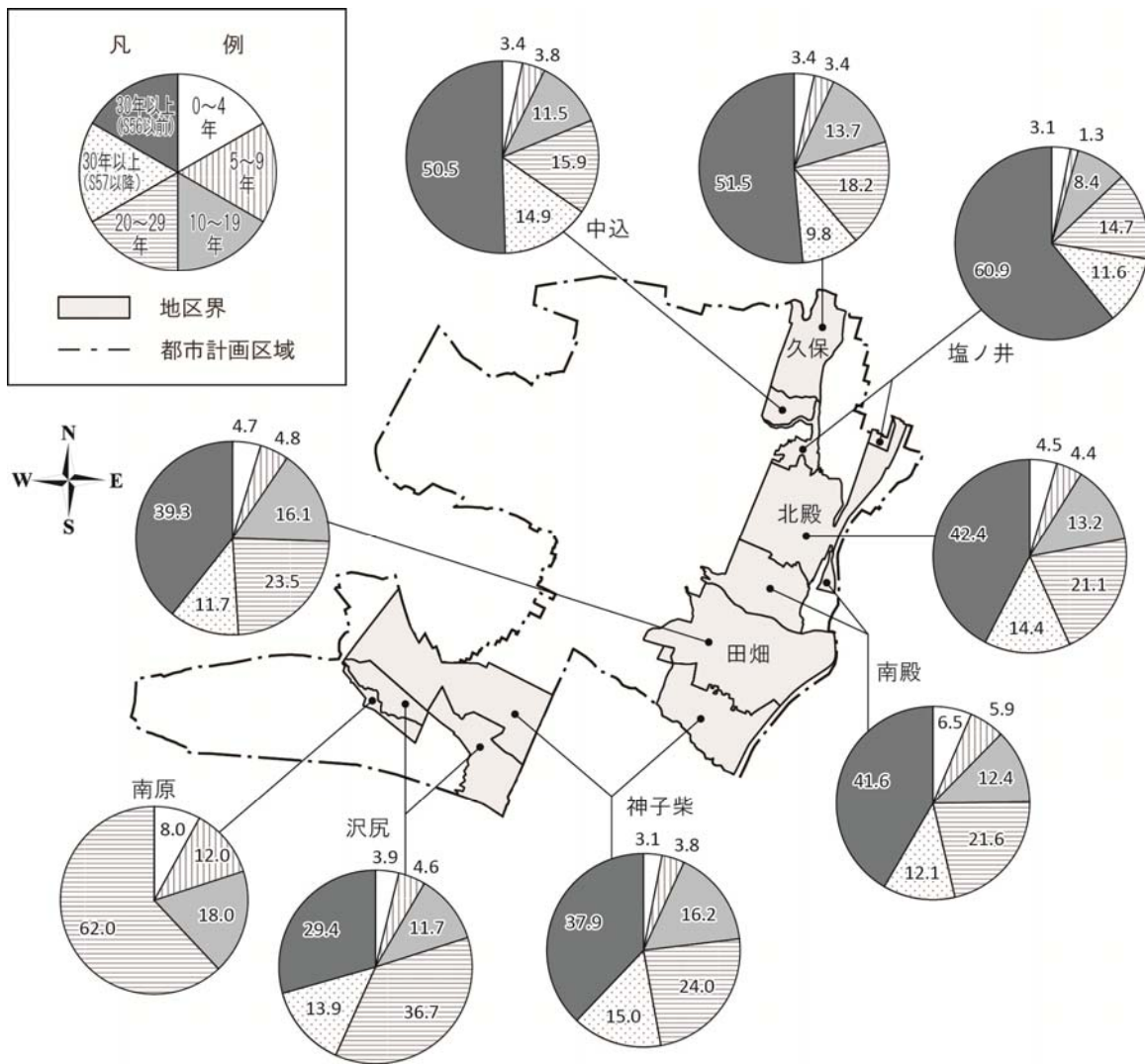


図 4 - 5 地区別建物年齢別構成比

C0402 大規模小売店舗等の立地状況

店舗面積が 3,000 m²以上の大規模小売店舗は南箕輪村内に 1 店舗あり、国道 153 号沿いに位置している。

表 4 - 6 大規模小売店舗等の立地状況

番号	所在地	店舗名称	建物設置者	住所	開店日	業 態	店舗面積	核テナント	立地法届出
①	丘下405 外	南みのわショッピングタウン	(株)フォルテ	南箕輪村393	H7. 4. 27	専門店(ホームセンター)	3,733m ²	(株)ケーヨー	○

資料：大規模小売店舗一覧（平成 30 年 3 月 31 日現在）

⑤ 都市施設

C0501 都市施設の位置、内容等

南箕輪村の道路は10路線が都市計画決定されており、総延長42,060m(うち村分20,250m)、整備率25.9%となっている。

都市計画公園は4箇所が計画決定されており、全てが開設済みである。

その他の都市施設としては、公共下水道や伊那中央衛生センター、新ごみ中間処理施設が計画決定されている。

表5-1 都市施設の整備状況

決定年月日	都市施設名称	都市計画決定事項			事業期間	備考
	【都市計画道路】	幅員(m)	延長(m)	()内は村分 変更内容		
S53. 1. 19	3・3・1 環状北線	22	8,370	(1,900)		改良済延長 1,440m
H30. 2. 22		22	7,130	(1,900) 起終点の変更等		
S53. 1. 19	3・3・2 環状南線	22	11,130	(3,950)		
S53. 1. 30	3・4・3 名古屋塩尻線	16	8,750	(4,820)		
S53. 1. 19	3・4・9 塩ノ井線	16	1,420	(上川原中込線)		
H29. 3. 6		16	320	名称、起終点の変更等		
S53. 1. 19	3・4・10 北殿下段線	16	3,930	(神子柴久保下段線)		
H29. 3. 6		16	120	名称、起終点の変更等		
S53. 1. 19	3・5・19 久保北殿線	12	5,260	(神子柴久保上段線)		
H29. 3. 6		12	1,460	名称、起終点の変更等		
S53. 1. 19	3・5・21 田畑大芝線	12	2,410		H元年度～H6年度	改良済延長 1,720m
H29. 3. 6		12	2,410	起終点の変更等		
S53. 1. 19	3・5・23 北殿大泉線	12	3,610			改良済延長 1,120m
"	3・5・24 久保線	12	700			
H29. 3. 6		12	700	車線数の決定		
H 8. 7. 11	3・3・32 伊那バイパス線	28	6,430	(960)	H18年度～H22年度	概成済延長(暫定2車線) 960m
	【都市計画公園】	面積(ha)				
S53. 1. 5	5・6・2 大芝公園	51.60			S47年度～H17年度	開設済面積 51.60ha
H 4. 11. 30						
S59. 10. 11	2・2・1 田畑児童公園	0.18			S59年度	開設済面積 0.18ha
S63. 12. 12	2・2・2 神子柴公園	0.23			S63年度～H元年度	" 0.23ha
"	2・2・3 大泉公園	0.10			"	" 0.10ha
	【公共下水道】	全体計画区域面積(ha)				
H 4. 11. 30		751			事業認可H 5. 2. 1	
H24. 3. 15		986			事業認可H24. 3. 12	
H 4. 11. 30	南箕輪村浄化センター	7.51ha				整備済
	【汚物処理場】	面積(ha)				
S53. 9. 11	伊那中央衛生センター	0.9				※
	【ごみ焼却場】	面積(ha)				
H27. 1. 23	新ごみ中間処理施設	2.5				※

資料：建設水道課、2017年長野県の都市計画(資料編)

注) 「※」は計画決定のみで当該村に施設は存在しない

⑥ 交通

C0601 主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度

平成 27 年の断面交通量のうち、20,000 台/12h を超える路線は中央自動車道のみで、伊北インターチェンジ・伊那インターチェンジ間で 22,603 台/12h、伊那インターチェンジ・駒ヶ根インターチェンジ間で 20,535 台/12h となっている。10,000 台/12h を超える路線は、一般国道 153 号、一般国道 153 号（箕輪バイパス）、主要地方道伊那インター線、主要地方道伊那箕輪線となっている。

また、混雑時平均旅行速度は一般国道 153 号の一部、主要地方道伊那インター線、主要地方道伊那箕輪線の一部、一般県道南箕輪沢渡線、一般県道伊那インター西箕輪線の一部で 30.0km/h を下回っている。特に一般県道南箕輪沢渡線で 12.0km/h と最も低くなっている。

表 6-1 主要道路断面交通量・混雑度・旅行速度

路線名	観測地点名	平日 12時間 交通量	平日 24時間 交通量	大型車 混入率	混雑度	混雑時平均 旅行速度	位置図 対応 番号
中央自動車道西宮線	一般国道 153 号伊北IC～ 伊那インター線伊那IC	22,603	35,520	25.7	0.43	94.4	1
	伊那インター線伊那IC～ 駒ヶ根駒ヶ岳公園線駒ヶ根IC	20,535	32,939	26.9	0.54	92.8	2
一般国道 153 号	上伊那郡南箕輪村7525	7,293	9,773	7.0	0.98	37.2	3
	上伊那郡南箕輪村7417	10,939	14,658	5.9	1.34	30.3	4
	上伊那郡南箕輪村3469	10,660	13,548	5.5	0.91	28.9	5
		10,660	13,548	5.5	0.91	34.5	6
一般国道 153 号（箕輪バイパス）	上伊那郡箕輪町中箕輪11526	12,051	16,148	6.3	1.14	44.6	7
一般国道 361 号	塩尻市奈良井 権兵衛トンネル手前	3,822	4,914	15.3	0.62	66.1	8
	長野県上伊那郡南箕輪村3801	5,256	6,728	9.6	0.54	38.0	9
主要地方道伊那インター線	上伊那郡南箕輪村8302-2	11,922	15,856	9.3	0.48	25.0	10
主要地方道伊那箕輪線	上伊那郡南箕輪村神子柴8143-1	11,656	15,502	5.2	1.07	25.6	11
		11,656	15,502	5.2	1.07	32.0	12
		11,656	15,502	5.2	1.07	41.0	13
一般県道南箕輪沢渡線	上伊那郡南箕輪村7701	2,772	3,437	4.5	0.36	12.0	14
一般県道吹上北殿線	上伊那郡南箕輪村2998-3	2,711	3,280	3.5	0.25	30.8	15
		2,711	3,280	3.5	0.25	32.7	16
一般県道伊那インター西箕輪線	上伊那郡南箕輪村南原8304-72	5,743	7,351	6.2	0.18	33.1	17
		5,743	7,351	6.2	0.77	27.9	18
一般県道伊那北殿線	上伊那郡南箕輪村6275-1	4,320	5,530	7.6	0.45	35.5	19

資料：平成 27 年度全国道路・街路交通情勢調査

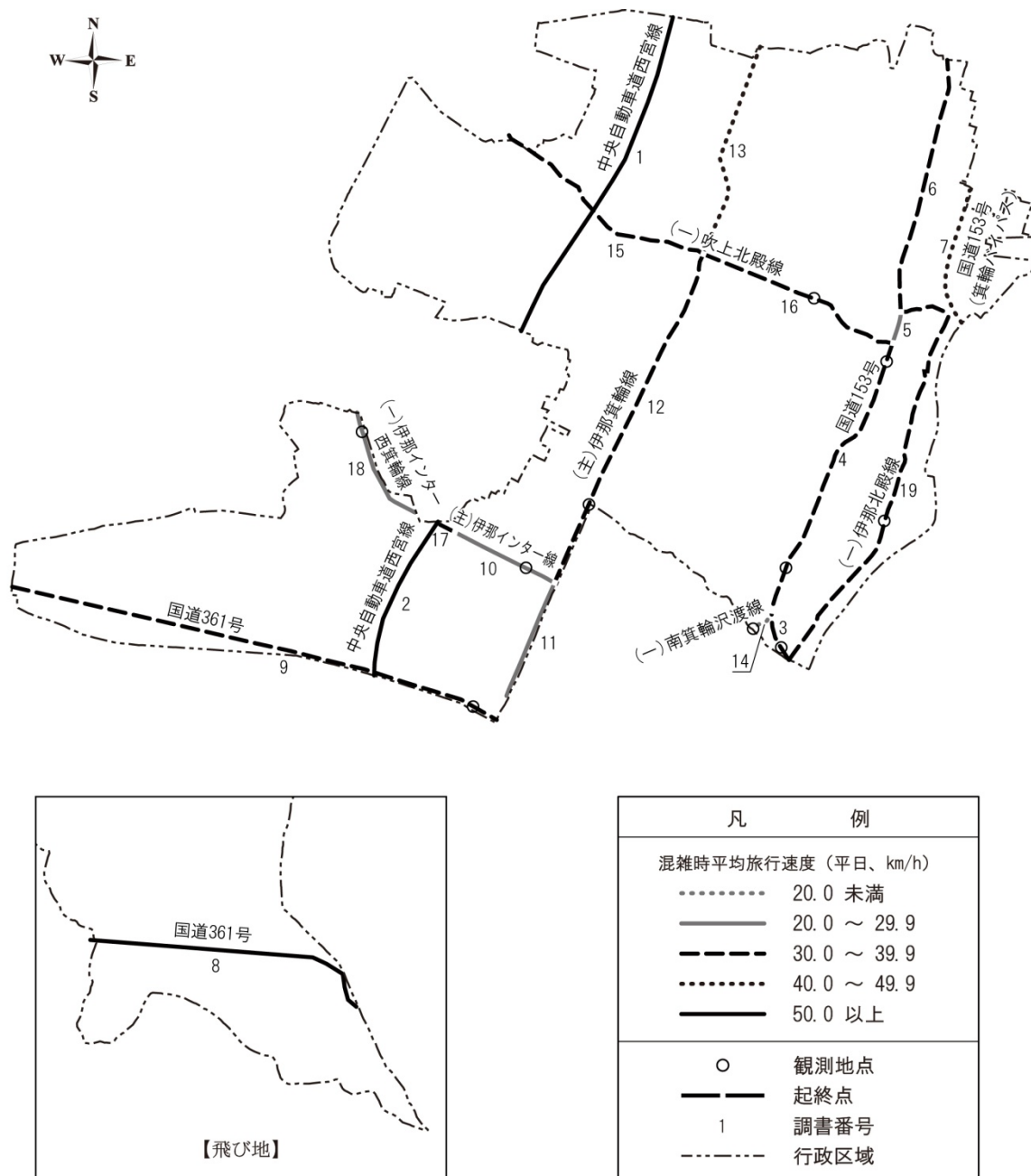


図 6 - 1 混雑時平均旅行速度分布図

C0603 鉄道・路面電車等の状況

南箕輪村内のJR駅は北殿駅及び田畑駅がある。一日平均乗降人員の推移をみると、北殿駅では平成13年が700人と最も多かったが、近年は550人前後で推移している。田畑駅は横ばいの状態が続いており、平成27年の一日平均乗降人員は306人となっている。

表6-2 駅乗降人員（一日平均）

年次	北殿駅	田畑駅
平成13年	700人	252人
平成14年	644	266
平成15年	624	248
平成16年	550	250
平成17年	558	246
平成18年	644	248
平成19年	628	274
平成20年	630	280
平成21年	660	268
平成22年	538	264
平成23年	542	276
平成24年	526	280
平成25年	562	280
平成26年	570	274
平成27年	588	306

資料：JR東海サービス相談室、長野県統計書

注) 一日平均乗降人員は、一日平均乗車人員を2倍して求めた

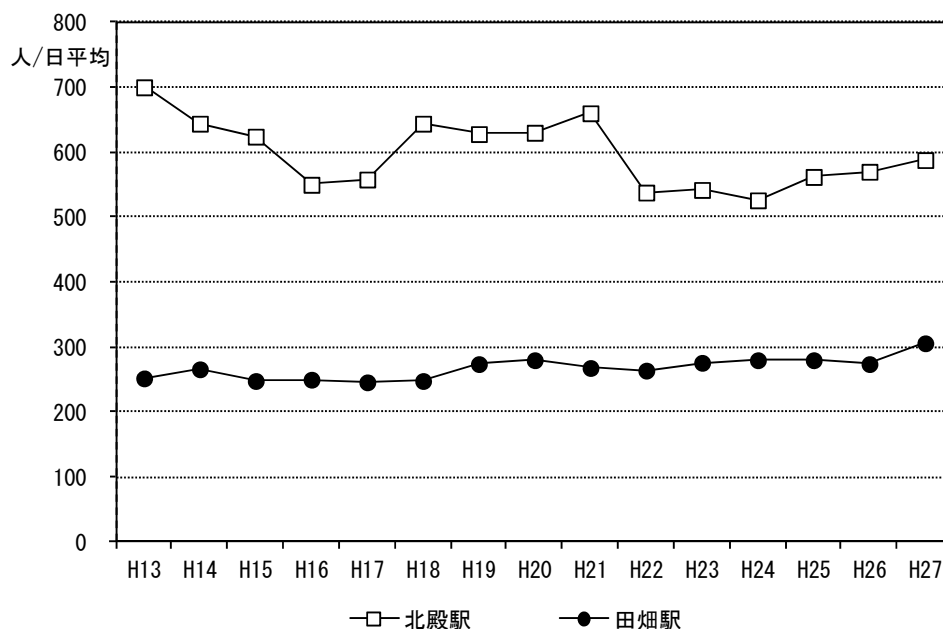


図6-2 駅乗降人員（一日平均）推移

C0604 バスの状況

バスの状況は村内4コースを巡回するまっくんバスと、伊那市、箕輪町、南箕輪村の3市町村を結ぶ伊那本線が運行しており、高齢者をはじめ村民の足としての役割を担っている。

⑦ 地 価

C0701 地価の状況

平成 27 年における地価状況は、国道 153 号沿いの商業地の価格が 26,300 円/㎡ (No④) と村内で最も高い値を示している。しかし、推移をみると、平成 12 年の 53,600 円/㎡から平成 17 年の 39,900 円/㎡と 25.6%の減少、続けて平成 22 年は 17.8%の減少、平成 27 年はさらに 19.8%の減少となっており、高地価地点であるが下落幅が大きい。

一方、住宅地 (No①～③) における平成 27 年の地価は 18,300～19,900 円/㎡となっており、調査地点による差は小さく、下落幅も商業地に比べ小さい。

表 7-1 地価変動の推移

調査種別	No	地番又は住居表示	年度	価 格 (円/㎡)	5年間の 価格変化率 (%)	土 地 利 用 の 状 況
地 価 公 示	①	南箕輪村字堤山6834番23	H12	24,600	-	・中規模一般住宅が多い閑静な新興住宅地域 ・第1種低層住居専用地域(40/60) ・住宅地 建物用途：住宅
			H17	21,700	-11.8	
			H22	20,400	-6.0	
			H27	18,300	-10.3	
	②	南箕輪村字御前窪9332番2	H12	26,700	-	・中規模一般住宅が多い新興住宅地域 ・第1種中高層住居専用地域(60/200) ・住宅地 建物用途：住宅
			H17	23,400	-12.4	
			H22	21,800	-6.8	
			H27	19,400	-11.0	
長 野 県 地 価 調 査	③	南箕輪村字稻荷3177番30	H12	25,700	-	・中規模一般住宅が建ち並ぶ分譲住宅地域 ・第1種中高層住居専用地域(60/200) ・住宅地 建物用途：住宅
			H17	23,100	-10.1	
			H22	21,400	-7.4	
			H27	19,900	-7.0	
	④	南箕輪村字細田7240番1外3筆	H12	53,600	-	・国道沿いに小売店舗、事務所等が混在する商業地域 ・近隣商業地域(80/200) ・商業地 建物用途：店舗兼倉庫
			H17	39,900	-25.6	
			H22	32,800	-17.8	
			H27	26,300	-19.8	
	⑤	南箕輪村字中の原9638番3	H12	19,500	-	・一般住宅、農家住宅等が混在する住宅地域 ・用途地域指定外区域 ・住宅地 建物用途：住宅
			H17	18,300	-6.2	
			H22	17,200	-6.0	
			H27	-	-	

資料：国土交通省地価公示、長野県地価調査

注) 長野県地価調査 No⑤について、平成 27 年は調査地点となっていない

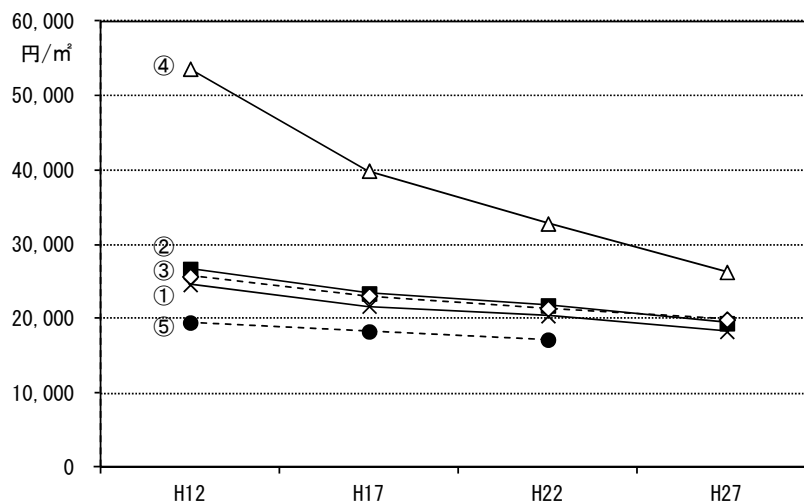


図 7-1 地価変動の推移

⑧ 自然環境

C0802 気象状況

平成 20 年から平成 29 年までの 10 年間における平均気温は約 12℃であり、最高気温は平成 25 年の 37.0℃、最低気温は平成 28 年の -14.5℃であった。

また、年間総降水量では、最高が平成 22 年の 1,872.5mm、最低が平成 29 年の 1,143.5mm となっている。

平成 29 年の月別の気温変化をみると、月最高気温と月最低気温の差は、最も小さい 7 月で 16.2℃、最も大きい 5 月で 29.4℃となっている。また、年間の気温較差をみると、最も気温が高い 8 月の最高気温が 34.8℃であるのに対し、最も気温が低い 1 月の最低気温は -10.9℃と、年間の気温較差が大きいことを示している。

表 8-1 気象の推移

年	気 温 (°C)			降 水 量				最 多 風 向	最 大 風 速 時 風 向
	平 均	最 高	最 低	総 量 (mm)	日最大 降水量 (mm)	降雪量 (cm)			
						飯田 ^{※1}	伊那市、 南箕輪村 ^{※2}		
H20	12.0	35.6	-11.5	1,346.5	73.5	76 (26)	32.5	N	S
H21	12.2	33.7	-11.2	1,713.5	78.0	15 (8)	11.8	NNE	S
H22	12.6	35.1	-9.2	1,872.5	77.5	33 (9)	22	SSW	S
H23	12.0	35.6	-13.2	1,662.5	126.0	57 (22)	52.6	SSW	S
H24	11.9	35.9	-13.7	1,472.0	73.0	46 (11)		SSW	SSW
H25	12.3	37.0	-12.8	1,383.0	81.5	68 (19)		SSW	SSE
H26	11.8	36.0	-11.2	1,425.5	70.0	118 (81)	(64)	SSW	S
H27	12.7	35.9	-11.0	1,550.5	81.5	58 (7)	(6)	SSW	S
H28	12.9	35.2	-14.5	1,641.0	123.5	25 (15)	(10)	SSW	S
H29	11.8	34.8	-10.9	1,143.5	72.5	34 (16)	(8)	S	S

資料：長野県気象年報及び気象月報、気象庁気象統計情報、伊那建設事務所整備課

注 1) 降雪量以外の値について、平成 23 年までは長野県気象年報及び気象月報（観測地：伊那市）の値、平成 24 年以降は気象庁気象統計情報（観測地：伊那）の値

注 2) 降雪量について、「※ 1」は気象庁気象統計情報の年間降雪量（観測地：飯田）の値であり、()内は最深積雪の値

注 3) 降雪量について、「※ 2」は平成 23 年までは長野県気象年報及び気象月報の年間総降雪量（観測地：伊那市）の値であり、平成 26 年以降の()内は伊那建設事務所整備課の各年 2 月積雪深最大値（観測地：南箕輪村）

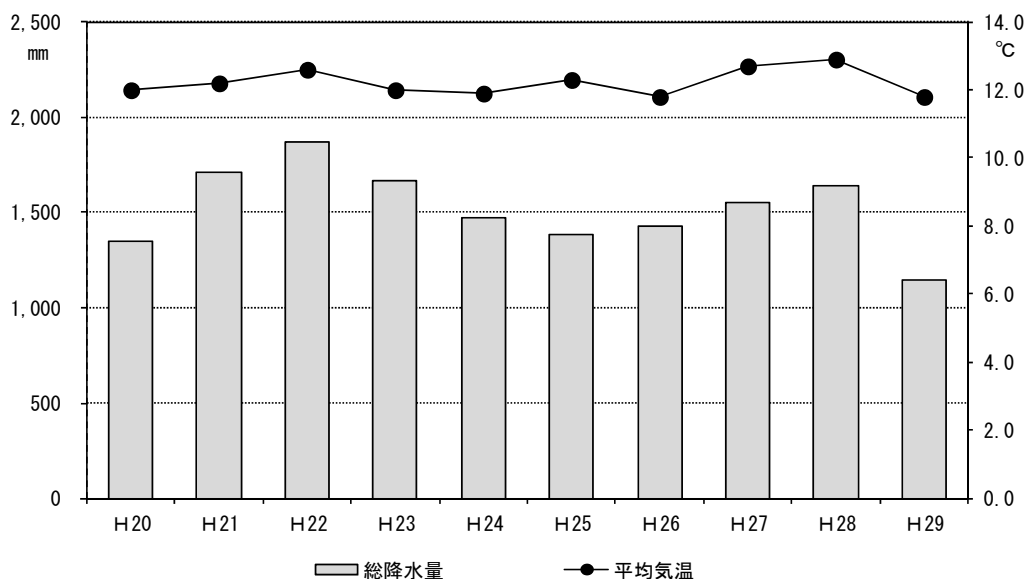


図 8-1 気象の推移

表 8 - 2 月別気象概要 (平成 29 年)

月	気 温 (°C)			降 水 量				最 多 風 向	最 大 風 速 時 風 向
	平 均	最 高	最 低	総 量 (mm)	日最大降水量 (mm)	降雪量 (cm)			
						飯田 ^{※1}	南箕輪村 ^{※2}		
1	0.1	12.1	-10.9	20.5	8.5	6 (15)		S S W	W N W
2	1.1	13.0	-10.0	69.0	22.0	15 (33)	8	N N E	W N W
3	3.8	16.7	-5.5	16.0	9.5			N N E	S S E
4	10.3	24.7	-2.4	148.0	41.5			S	W N W
5	17.2	31.7	2.3	58.0	22.5			S	S S W
6	19.1	31.1	6.5	101.5	61.0			S	N N E
7	24.9	34.1	17.9	181.0	72.5			S	S E
8	24.6	34.8	16.0	85.5	19.0			S	N N E
9	19.2	29.8	7.1	116.0	24.5			N N E	S
10	13.6	29.1	-0.2	279.0	62.5			N N E	N
11	6.6	20.9	-4.6	48.0	17.5			S S W	S S W
12	1.1	14.2	-8.2	21.0	13.5			S S W	N E

資料：気象庁気象統計情報、伊那建設事務所整備課

注 1) 降雪量以外の値については気象庁気象統計情報（観測地：伊那）の値

注 2) 降雪量について、「※ 1」は気象庁気象統計情報の最深積雪（観測地：飯田）の値であり、()内は月総降雪量

注 3) 降雪量について、「※ 2」は伊那建設事務所整備課の 2 月積雪深最大値（観測地：南箕輪村）

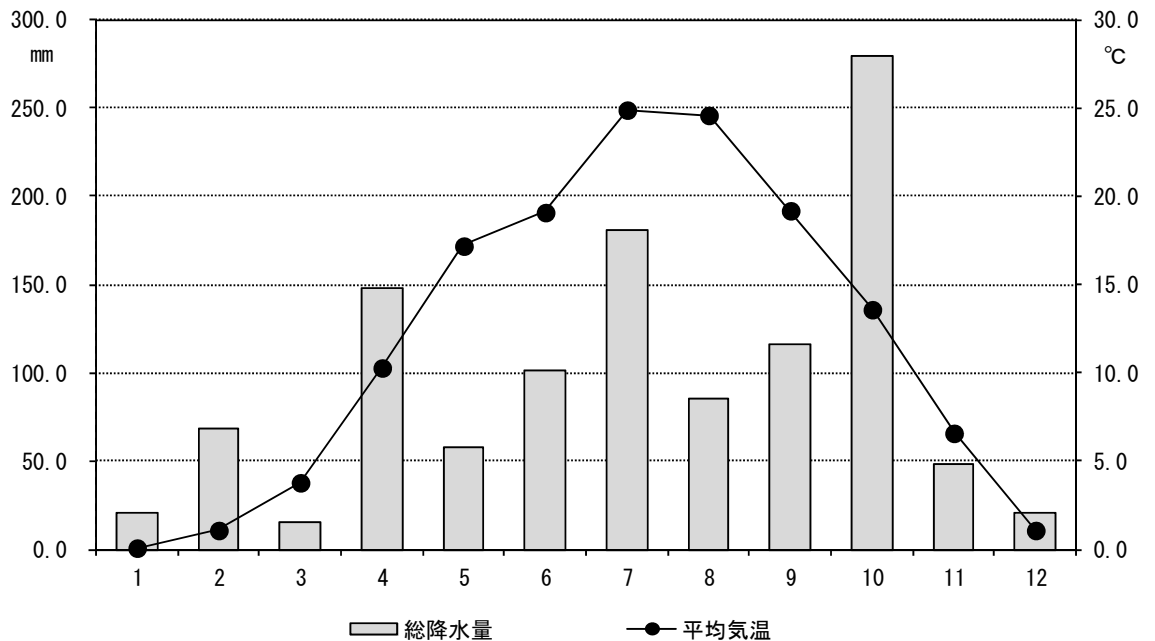


図 8 - 2 月別気温及び降水量の推移 (平成 29 年)

C0803 緑の状況

都市計画区域内の緑地現況をみると、公共緑地では公園、緑地が 77.2ha と最も多い。その他の緑地では、農地、牧草地その他これらに類するものが 945.5ha と最も多く、続いて山林、原野その他これらに類するものが 130.6ha となっている。

用途地域指定区域については、公共緑地では公園、緑地が 1.4ha、その他の緑地では農地、牧草地その他これらに類するものが 124.3ha と多くなっている。

表 8 - 3 現存緑地の計量

単位：ha

		用途地域指定区域			用途地域 指定外区域 (4)	都市計画区域 (3)+(4)=(5)
		人口集中地区 (1)	(1)を除く区域 (2)	小 計 (1)+(2)=(3)		
公 共 緑 地	公園、緑地		1.4	1.4	75.8	77.2
	広場、運動場		0.2	0.2	10.6	10.8
	墓 園		0.5	0.5	1.3	1.8
	その他					
そ の 他 の 緑 地	水面：河川、湖沼、水路		2.9	2.9	16.5	19.4
	水辺：海浜、河岸、湖畔		0.9	0.9	18.5	19.4
	山林、原野その他これらに類するもの		99.5	99.5	31.1	130.6
	農地、牧草地その他これらに類するもの		124.3	124.3	821.2	945.5
	社寺、境内地、墓地その他これらに類するもの		3.6	3.6	1.5	5.1
	給排水その他処理施設等の公共公益施設付属緑地					
	遊園地、私設公園、私設分区園その他これらに類する民営施設					
	共同住宅緑地、工場緑地その他これらに類する施設					
学校、企業厚生施設その他これらに類する施設		73.8	73.8	4.0	77.8	
林業試験場、農事試験場その他これらに類する試験場等研究所						

資料：緑地総括図

⑨ 公害及び災害

C0901 災害の発生状況

平成 20 年から平成 29 年の過去 10 年間で大規模な災害は発生していないが、平成 18 年 7 月に諏訪・上伊那地方を中心とする地域で、過去の豪雨記録を上回る豪雨により各地で多くの被害が発生した（平成 18 年 7 月災害）。本村においても、床上浸水や床下浸水をはじめ、農地、水路等農業用施設、道路等への被害が多く発生した。

C0902 防災拠点・避難場所

防災拠点・避難場所については、緊急指定避難場所が 43 箇所、指定避難場所が 26 箇所、防災拠点施設が 8 箇所ある。

表 9 - 1 防災拠点・避難場所

No	名 称	種 別			収容可能人数 (人)
		緊急指定 避難場所	指定避難 場 所	防災拠点 施 設	
1	久保児童公園	○			
2	久保公民館駐車場	○			
3	ミノワボウル駐車場	○			
4	縁結駐車場	○			
5	北部保育園庭	○			
6	久保 9 組集会所	○			
7	中込公民館庭	○			
8	県営住宅横広場	○			
9	塩ノ井公民館庭	○			
10	旧ケーヨーデイツー(株)南箕輪店駐車場	○			
11	北殿公民館駐車場	○			
12	南箕輪中学校第 1 グラウンド	○			
13	南箕輪中学校第 2 グラウンド	○			
14	(株)ハーモ駐車場	○			
15	日本ピスコ駐車場	○			
16	中部保育園駐車場、園庭	○			
17	大明化学工業(株)駐車場	○			
18	南箕輪小学校校庭	○			
19	南箕輪村役場駐車場	○			
20	上伊那農協南箕輪支所駐車場	○			
21	KOA(株)グラウンド	○			
22	田畑児童公園	○			
23	田畑公民館駐車場	○			
24	南箕輪浄化センター公園	○			
25	神子柴公民館駐車場	○			
26	神子柴公園	○			
27	マルタ工業(株)空地	○			
28	上伊那農協広域選果場駐車場	○			
29	神子柴西部集会所庭	○			
30	沢尻コミュニティセンター駐車場	○			

No	名 称	種 別			収容可能人数 (人)
		緊急指定 避難場所	指定避難 場 所	防災拠点 施 設	
31	上伊那農業高等学校校庭	○			
32	南原グラウンド	○			
33	信州大学農学部グラウンド	○			
34	大芝公民館駐車場	○			
35	大芝公園内駐車場	○			
36	大泉唐松公園	○			
37	西部保育園庭	○			
38	たけのこ園駐車場	○			
39	大泉児童公園	○			
40	水稻育苗センター	○			
41	いずみ苑駐車場	○			
42	北原公民館駐車場	○			
43	みなみみのわふれあいの里	○			
44	久保コミュニティセンター		○		140
45	北部保育園		○		180
46	中込公民館		○		80
47	塩ノ井公民館		○		60
48	北殿公民館		○		210
49	中部保育園		○		280
50	南箕輪中学校		○		400
51	南箕輪小学校		○		470
52	南箕輪村公民館		○		200
53	南箕輪村民体育館		○	○	450
54	南殿コミュニティセンター		○		150
55	田畑公民館		○		180
56	神子柴公民館		○		150
57	南部保育園		○		180
58	神子柴西部集会所		○		40
59	沢尻コミュニティセンター		○		120
60	上伊那農業高等学校		○		400
61	南部小学校		○		290
62	南原コミュニティセンター		○		120
63	南原保育園		○		160
64	信州大学農学部		○		250
65	大芝公民館		○		40
66	屋内運動場		○		440
67	西部保育園		○		160
68	西部地区館		○		120
69	北原公民館		○		40
70	南箕輪村役場庁舎			○	
71	南箕輪村民センター			○	
72	南箕輪保健センター			○	
73	いずみ苑			○	
74	防災倉庫・水防倉庫（庁舎北駐車場）			○	
75	大芝公園			○	
76	村民交流支援センター			○	

資料：南箕輪村地域防災マップ、南箕輪村地域防災計画